京城日報

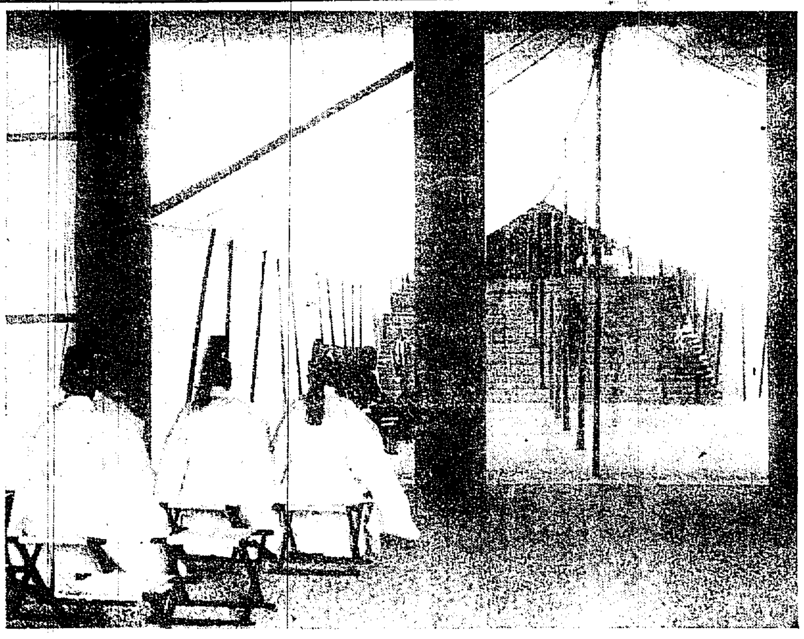
朝賀の御儀(第二日)

聖上皇后兩陛下には元日に引續き今二日も午前九時赤坂離宮御出門、晴れの御…にて宮城に行幸啓、宮中正殿において九時三十分より皇族從二位以下從四位同夫人の拜賀を受けさせられ、九時五十分よりは四、五勲各等位官の拜賀、十時よりは貴衆兩院議員、判事等の列立拜賀を受けさせられ、千百の文武官の列立する宮中の御廊下を静かに通御あらせられて大奥に入御こゝに朝賀第二日の御儀もとどこほりなく終らせられた

明治大帝以來 重き新年の御親祭

元始祭に行はせらるゝ、舊

一月三日は元始祭である。この日宮中三殿においては早朝御殿の御装飾をとゝのへさせられ、賢所皇靈殿には新殿前に六本の榊を…、神殿には…の外に…を供し…。陛下には午前十時御出御に…御拜の後、御手水の後…、皇族、大勳位以下文武官… 御拜の庭に進ませられ、御玉串を捧げさせられ、次いで皇后陛下には…を舉げさせられて御拜あり、終つて各皇族、各參列員拜禮、…御儀を行はせらるゝはず、なほこの日…午後に…の御儀を行はせらるゝはず



零下二十度の嚴寒を衝いて參拜

—朝鮮神宮の歳旦祭—

百八の鐘の鳴り終るを待つて南山麓の朝鮮神宮には參拜者が續々と押寄せて來た。零下廿度といふ嚴寒の境内には神官の焚く二ケ所の大篝火と提燈少年隊の大篝火が夜空に沖して神々しく夜の闇を照し、漸く東が明け離れてうらゝかな初日が東天に昇れば南山の山色あらたまりすがすがしく、參拜者はいよ〳〵増加して來た。午前九時に至れば高松宮司以下神官全員拜殿に入つておごそかに歳旦祭が執り行はれた。參列者は總督府から總督代理として矢島地方課長、軍司令部代表者その他四十餘名があつた。當日の參拜者は總計二萬一千二百四十八人で歩兵第七十八、七十九聯隊全部、各種團體人名の團體參拜者もあつた。これに次いで京城神社も相當參拜者を極めた(寫眞は朝鮮神宮の歳旦祭)

解散なくして議會は切り拔ける

—政府では斯う觀てゐる

【東京電話】政府は今期議會をなるべく無事に切り拔けたいとの方針の下に田中首相初め各閣僚政務官、與黨幹部等手わけして各方面にわたりをつけ在野黨の切り崩しに努力をかけてゐるが、騷ぎにも到り政府も漸く今期議會を先づ何とか切り拔ける見込が出來さうだとの自信を得たもの〻如く、某閣僚の如きも議會はどうにか解散なくしてすみさうだとホツト一息の態で左の如き意見を述べてゐる

政府の觀測

現在議會の形勢は民政派二百十名、政友會百八十九名で野黨聯盟によつて新正倶樂部の二十七名を加へて野黨は二百四十七名となり、其の開きは五十八名の多數に上る。然しこれは表面の數で事實に於いて新正倶樂部二十七名のうち床次氏系民政黨と共に政府不信任の最後までは行動を共にするものは革新系の大部分と中正倶樂部の一少部分で僅か十名内外に過ぎず、他の多數は不信任案反對の意見であるのみならず…と見られてゐる…

既に可解散があるので之等の總計を比較すれば、在野黨との差は僅に八、九名であるが、其の内民政黨側で病氣その他の事情で今期議會中出席不可能なものが四、五名あつて、ギリギリの差は四名に過ぎぬ。所がこれは單に現在の狀態であつて今後民政黨内にどんな分解作用が起らぬとも限らず、既に機運は熟してゐる。要して政府が解散するやうに四圍の形勢が順調に進むかどうかはなほ不明である。

古宇田知事 結局依願免官か

【東京電話】古宇田宮崎縣知事の行政處分については政府も愼重の態度に出て地方官の大異動に關連することを考慮し愼重に協議の結果、いよ〳〵依願免本官の形式に於て處分をなすことに内定し、新年政治休戰の後の閣議でこれが正式決定にこれに伴ふ二、三地方官の更迭と同時に正式に決定發表する豫定である

勅選補充 今度は與黨外

【東京電話】政府は目下缺員中の四名の勅選を成るべく議會休會中に詮衡したき意嚮であるが、元來缺員の場合は必ず同會派の下にこれが入選につき田中首相と鈴木内相の間に寄り〳〵協議中であるが、その詮衡範圍は今回は政黨方面よりは一まづ保留し、東京、大阪より實業家各一名づゝ、他の二人を山中各府縣知事および官吏上がりから推薦する模樣である

仁川白米百萬石 突破祝賀會

近く仁川で擧行

仁川白米の出荷は朝鮮から總移出される白米の過半數百萬石に近く京畿道總産額の移出米の七割を占め朝鮮白米といへば直に仁川白米を聯想されるやうな狀態であるが、昨年は稀有の豐作と金融の關係上仁川白米は一しほの活況を呈し舊臘三十日までの驛移出數量百萬石を突破したので穀物協會ではこれを記念しあはせて將來一層の進展を促すため近く仁川白米百萬石突破の大祝賀會を擧行すべく四日これが協議會を開くことになつたが、當日は總督府、遞信その他の關係當局をも招待するはず

階級鬪爭絶滅が急務

勞働運動の將來

【ロンドン一日發聯合】イギリス勞働組合會議書記長ベンバーナー氏は一日新春の聲明ステートメントを發表したが同氏はその中に力說していはく、世の中には愛と融和をさせる力はない、從つて我々組合員の仕事は不幸なる社會に沈淪せる同胞を救ふ事でなければならない。而して組合運動の最大使命は現在の社會組織から超へて階級鬪爭を絶滅するにある、故にイギリス國民はこの際全力を擧げて社會改善のために盡すべきであると信ず。

大禮の諸儀(二)

掌典 星野輝興氏謹話

齋田點定の儀

◇齋田點定の儀(二月上旬) 齋田は悠紀と主基との兩田の事で、これを決定するには登極令第八條『大嘗祭の齋田は京都以東以南を悠紀の地方とし、京都以西以北を主基の地方とし、其の地方は之を勅定す』とあるのに基づいて二月初旬、宮中神殿の前庭で、龜卜によつて行はれるのであります。悠紀は『雪』『湯』等の清淨な意味を現す所に語源がありまして、主基は『次』といふ語に語源がありますが、次と云ふのは清淨さの程度の意味でなく、時間的の次であつて、第一次に清淨な食物を奉め給ふ所、第二次に清淨な食物を奉め給ふ所の意味で、即ち今日は第一次に『清淨云々』の『清淨』をとり、それが雪や湯の如く清淨であると云ふ意味から『悠紀』が殘り、第二次の清淨云々『次』をとつたものが『主基』となつた次第であります。ともに深奇の意を表はし、其のきこしめされる御殿が悠紀、主基の兩殿で、その時の御米を作る田が兩齋田です。齋田も亦、大嘗祭御用の新穀を作るために淨み清められた田であると云ふ意義に外なりません。

さて齋田點定の話でありますが、これは登極令附式にも明記はありませんが、古儀によりまして神殿前庭に龜卜を行ふことになつて居ります。龜卜は齋田點定の儀の精髓であつて、その作法は明治四年の大嘗祭には見へて居ります。こゝに一寸龜卜の歷史について申し上げます。日本の龜卜はもと支那から傳來したもので、世界の人類は昔、骨卜、動物の肩胛骨等によつて生じた『ヒビ』は神意を表はすものとして、常に神聖なト相には用ひられたものでありました。日本でも昔鹿の肩骨を以て卜相を行つたものでありますが、鹿よりも龜が得やすい關係もあり、支那渡來の龜卜の法を用ゆる樣になり、龜卜法は今はわづかに東北方面の一地方に用ひられて居る位になりました。此の龜卜法は年代から云へば支那文化渡來以來のものであります。

龜卜の由來は先づ右の通りでありますが、さて、その方法は、まづ地味、風土、人情、風俗および稻作の時期、收穫の時期等に關して調査しうる總ての條件を具備した國の中から最も吉とされるものから撰ばれ、悠紀、主基兩田の候補地を選定して置きまして、それから、神殿前庭で悠紀、主基の龜甲を火の上にかざし、その甲面に生ずる『ヒビ』の方向、形狀長短等『ヒビ』の生じ樣から來る卜相の方法に照してこれを九齋點の一を判定し、更に大禮使長官を經て御裁可を仰ぎ直ちに勅定されるのであります。斯樣にして齋田が決定されますと、これは大禮の儀以外ではありますが、光榮の齋田を仰せつかつた地方では左の通りの諸儀式が行はれて齋田が出來上ります。

齋田の設式 (四月下旬)
入の式 (同)
播種式 (同)
田植式 (六月下旬)

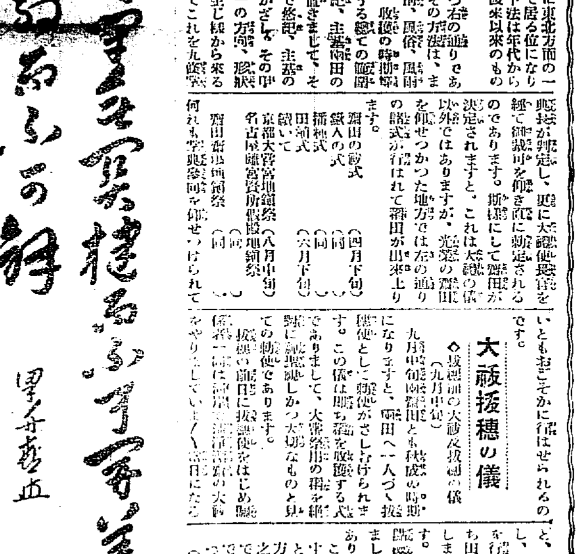
續いて

京都大嘗宮地鎭祭 (八月中旬)
名古屋離宮宮殿假殿地鎭祭 (同)
齋田齋場地鎭祭 (同)

何れも掌典參向を仰せつけられていとおごそかに行はせられるのです。

大祓拔穗の儀

◇拔穗前の大祓及拔穗の儀(九月中旬) 九月中旬齋田に稻も收穫の時期になりますと、齋田へ一人づゝ拔穗使として勅使がさし向けられます。この儀は即ち稻を收穫する式でありまして、大嘗祭用の稻を絶對に純潔に取扱ひしかつ大切なものと見ての勅使であります。拔穗の前に拔穗使をはじめ關係者一同は清淨潔齋の大祓を行ひ齋田にたつと、拔穗使は齋田に參向し、まづ拔穗の神を祭つてお祭りを行ひます。その祭中、大田主即ち田の持ち主は耕作者十人を引率しまして稻を刈り取るのであります。拔穗使はその稻を一々嚴重に點檢した後これを稻實殿に格納しまして、ここに拔穗の式が終るのであります。これも亦大禮使關係以外の事ですが、こうして收穫した稻は來十月の中旬兩地方長官は新穀輸送の式を行つて之を京都に輸送します。宮内省では京都皇宮内にある齋庫の前でそれを受領し新穀供納式を行つて齋庫に納めるのであります(つゞく)



◇……一木宮相試筆

參賀を受ける元旦の山梨總督

新年の辭 —四府尹

京城府尹 馬野精一

謹んで新年の御祝詞を府民各位に陳べます。顧みるに客歳は國家にとり我等國民にとり最も悲しみ深い一年でありまして、時來りて今や聖雍の殯庭嚴かに鎖され、世は一陽來復の希望裕かに清新の氣溢るゝ今上陛下御登極後はれやかなる新年を一般と共に迎へ得ましたことは洵に邦家の爲慶賀に堪へない次第であります。改曆初頭先づ第一に府民各位と共に靜思したきは昭和の御聖業に相應せんとする我等國民の覺悟如何であります。蓋し國家の現狀に照すも時に半島の實狀に鑑みるも昭和の第三年は多事多端なる時期でありまして上下一致最も努力を要する重要の年なることを深く感ずる次第であります。乃ち昨年國家としては今上陛下御即位の大禮を秋十一月御擧行になり我が朝鮮に於ては總督總監の更迭に依り半島の局面に新なる展開を見んとしてゐる。而して此の是運に乘じ京城府政の現狀及び將來を推察するに其の實すべき府の事業計畫すべき施設頗る多く既に描かれたる輪廓の整備充實を第一義とすると、大京城建設の任務益々重大なるを痛感する次第であります。理想の光被する所輸續實の蓄備あり、益々多難なるべきと信ずる次第でありますれば、希くは衆心一致して府政の運用を浮べ牛歩の千里も一歩よりして、自ら共に成功せしめ、國家社會の用に供し、自ら共に其福利を享くるのであるから、…一致益々經綸和の實を擧め圓滿なる府政の進展に貢獻せられんことを、京城府民各位の萬福を祈つて止まぬ次第であります。

新義州府尹 伊藤正慤

希望に輝く新年を迎へ謹賀に堪へません。終始靜肅なる内に過ぎし日の…であるが、當府は朝鮮第一線の新興都市として又一衣帶水安東縣に對する關係上爲すべき事業、計畫すべき施設甚だ多い。…府の財政は依然從來の緊縮方針に則り府政を遂行するの外なき有樣である。當府の繼續事業中、上水道工事は沈殿池の研設工事を除く外は立派に竣工を告げ、又防水堤市街整理等の工事も着々其歩を進めつゝあるを以て、已むを得ざる事情の起らざる限り本秋には豫定の通完成を見るに至るであらうと思ふ。是又多きことながら登極の大禮を行はせらるゝ光榮の今秋に於て吐大事業たる當府經營の防水堤が竣成を告げ、大新義州建設の第一歩に踏入ることゝ爲りたるは偶然とは謂ひながら甚だ欣快とする所である。

釜山府尹 泉崎三郎

玆に光榮ある昭和三年の歳代に府民と共に新年の春を迎へたることは誠に慶賀の至りである。過ぎし昭和丁卯の歳は吾等國民にとりて思へば如何にも悲しき歳であつたが、…吾等國民は希望新なる昭和第三年を如何にして有意義に生活すべきか、吾人は…の諸事を知り…何にも其の建設、施設が眼前に…

平壤府尹 松井信助

玆に諒闇明の歳辰の春を迎ふることゝなつたのは誠に結構なことゝ思ふ。今や大内山には瑞雲靉靆の際天下に滿ちむとするの時、我新…の益々多幸ならむ事を祈る次第である。我等は上に聰明文武なる天皇陛下を來戴し、聖手たる政治の下に生活するのは幸福なる國民であると云はねばならぬ。我が朝鮮の如きは地形が西北より南方に延びた一の半島であるから南北の二地方が氣候に於て大に違ふ。又西北は陸續きで未開の地多き外國の領域に接壤し、南端は僅に海を隔てゝ文化の開けた内地に相對して居るので文化の攝取と云ふ點に於ても亦大に違がある。而して寒い地方は富の生産者稍に於ても南に比して大なる差異がある。寒い所は、個人にしても公共團體にしても其爲すべき事業が充分に延び得ないと云ふことになる。其れが爲に人文の程度も隨て後れる結果になるのである。…西北の人も南北の人も等しく國民たるに於いては少しも變りはないのであるから、國家の惠澤には平等に及ばねばならぬ。故に…者は最も不平等に幸福を享受せしむるの途を取らねばならぬ。要之吾人々類は氣候と云ふ大自然の力の支配を受けて生存するのであるから、此力に打勝つて人類社會の共存共榮を圖り、大なる力によつて之を調節して行かねばならぬものと信ずる。

あすの天氣(三日)

支那内陸の高氣壓は發達して朝鮮に擴がつてゐるがその傾斜は緩しいため全鮮天氣はよく沿岸地方は北西の風が強い、明日京城は晴れて一時曇る事もあらう

豫報	晴一時曇
氣溫 二日 最高	零下七度
最低	零下[illegible]

仁川滿潮表(三日) 午前九時十分 午後九時四十分

人

◇畑本社政治部長 二日朝京城發黄海道海州へ出張

宮内省御用品

祐

お正月に福を招いで

姿やさ味噌の

お雜煮

キッコーウの調味

冬の朝鮮（二）

雪を想ふ熱情
そこに生れる快技
モントリオールの冬にもまして　我等がもてる喜び

人はいふ『見渡す限り涯しなき雪の曠野のはてのモントリオールの親しさ、なつかしさ、スロープを滑り氷上を走り、まばゆい陽の光りに照り出される銀の粉と、屆月夜の下のこゝの街の火が街の際に溶けてゐる情景は、ウインタースポーツに親しむものにとつてはたまらなく魅惑づける』と。こゝにはスケーティングあり、スキーあり、トボガンがありアイスホッケーがある冬を謳ふ……

雪を想ふ　胸は躍へても

胸へても悔りを感じ得ないが、しかしわれらが生息に恵まれた朝鮮は、冬は、モントリオールにセントローレンスの流れがあるごとくつくもなは鴨緑江の朔風が呼んでくれる。見よ、鴨緑江はボピュライズされてスケーティングにあり、元山めがけて集まるスキーマンの群にある、近くは驪大を縫ふる金剛山に大スキー場も計畫されるに至り、アイスホッケーも、昭和三年度朝鮮東部競技大會チームの大滅によつてモントリオールの冬にも劣らぬかに新選手は開かれようとしてゐる。アイスホッケーを識へば胸がわく〳〵する。ゴール、キーパーはベースボールの捕手の様な異常をつけて、アイスホッケー特有な派手なユニフォームをつけた選手が縦横にすべり出すとまづこの濃い色彩が、無限の線をひいてひとみを躍く〳〵しかもこゝろよく刺激する。パックが矢の様なはやさで飛ぶとゴールは悠々と手で止め、スケートで止め、或はステックでそらすゴール近くの猛烈なロング、シュート、みる者の心はたまらなく緊張する。氷にすべるスケートの快音と、光りが

閃々として　みてゐてさへ

競技のはては悲壮さを感じさせる。スケートだから一旦はじまつたスピードはなか〳〵思ふ様に止まらない。ステックをうまく使ふ所に、このゲームの技巧がある。選手たるプレヤーが前進する時は、到底一人や二人の味方では受けられない。さからといつて三人も集まつて防いでおれば隙いパックは鋭い氷上をすぐウイングにパスされてゐる。觀衆の騒ぎ『よおー』と鳴れば同時にホッサイドの道がひらく、觀衆は遂に默つておれなくなる。總勢が一齊に防禦線まで肉薄して來た時コンビネーションが破れて前進し來たつたチームはスケートの勢ひで而に防禦に移り得ない時に攻防の逆轉する刹那の如き全く觀衆はなりたくなる程だ。スケーティングよし、スキーも愉快だ。然しこのアイスホッケーの如き活潑々たる快味はないといつてもいゝ、そのアイスホッケーも、今や漸く朝鮮に芽生えをみせようとしてゐる時、雪だ、霜だ、冬、冬、冬だ、雪の世界こそ冬の氷の世界こそ朝鮮の健兒鍛へた人は冠山の巓を愛し金剛山の峻嶺を越した健脚をあげ、しかしてまた鴨緑江の洋々とたる氷板を滑る、その上、平壌に牡丹臺大同江を論ひ、京城に漢江の流れと、北漢山の雪を賛する、しかし

元山の海は　雪に埋もれた

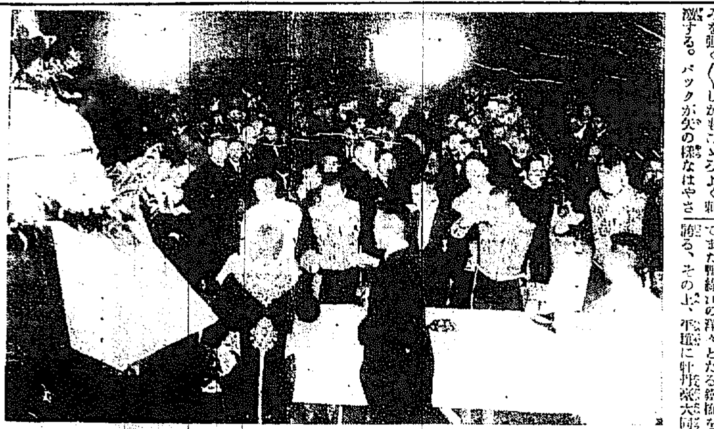
かず、金剛山のスキー場に、躍る心に如かず、金剛山の雄姿も、かゝる雪に、純白の一線を宇宙に劃する高度に、鴨緑江が鐵橋の壯觀を誇つても冬の世界に過ぎるとは大を誇つても冬の世界に溺きとはる様な大氷の一面にはりつめた時を若いも若きも男子も女子も純白の世界に飛び翔り冬の際に走り去る光景を勝るとはいへぬ。冬の健康にしみつく寒さを踏みしめる壯快さは、冬の國に生活するものゝみの知る喜びでなくてなんであらうか、あゝ冬は、雪は、氷は、われらの心を心にくいまでに湧き立たせる、恐ろしいまでに、なつかしがらせる、おゝ冬の朝鮮がたひたくてならない。

水上機墜落　五名慘死
航空輸送の試驗飛行中

【マルセイユ卅一日發聯合】フランスボードガローヌ號のツールーズから佛領モロッコの間に近く旅客航空輸送を開始されるはずであるが卅一日これが試驗飛行を行ひその際旅客航空輸送に使用さるべき一對の水上飛行機が墜落し搭乘者五名は慘死をとげた

鹿島丸離洲

【ロンドン一日發】テームス河口に近きパーキング沖上で坐洲した日本郵船鹿島丸は三十日夕刻に離洲し日本へ向け航海を續行する前に船體を檢査すべくグレーヴスエントに赴いた



名刺交換會

京城公會堂における名刺交換會は一日午後零時半から催された參會者約三千人公會堂も一度に收容しきれず二回に分けて席につき馬野府尹の挨拶で萬歳三唱して散會した當日は各官衙長の拝賀式の歸途した高官が殊に目立つて賑しかつた

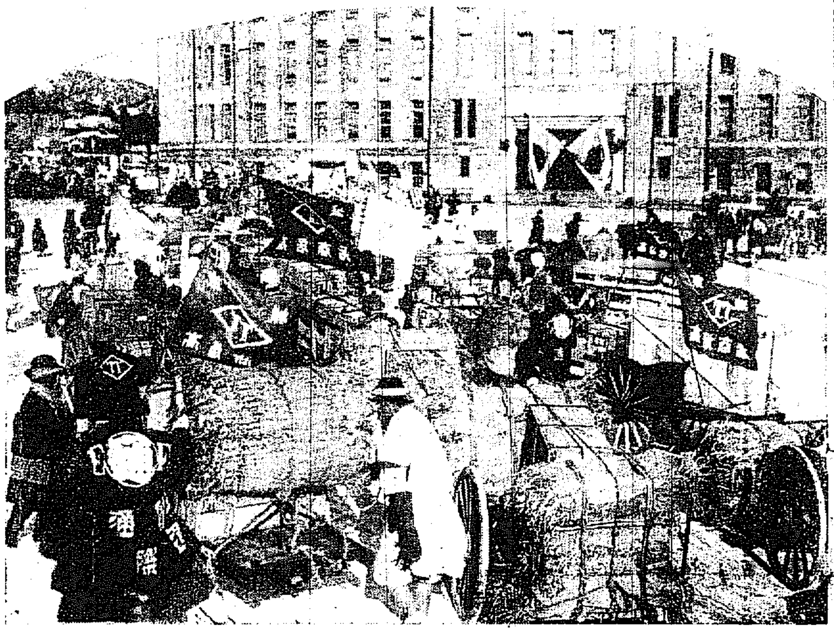
福は内（二）
一龍齋貞山

庭へお廻りをドウ〳〵と足音高く來りましたのは高木九助といふ男。本忠『オヽ、貴様は九助ではないか』九『貴所は元老酒井侯でありますか』忠『何を申すぢや、イヤ手にひつさげてをるのは何だ』九『御意にございます坊主首を一つ大將の御前にせなへんと存じ……』忠『アヽ坊主首を持つて參つたか、その首は大將の實檢にそなへるまでのことはない貴様の功名は無駄にはせんからこの酒井へ預けてくれろ』九『この首が御入用でございますか』忠『オヽその首に入用があるからかして見れろ』といひながらかたはらの一冊の槍を取つて顎を拂ひ、その槍の鬼に坊主首を突きかけ忠『[illegible]し高木九助、敵の首[illegible]の實檢にそなへては[illegible]名、なほ又その首を陣に據へたすは功名の上のほまれといふ事に相成る、われ等が承知であるからその方おやぐらへ登つてこの首を振廻し、武田信玄大將の首を討ち取つたと大聲を上げて、[illegible]いたせ、敵も味方も定めて聞く[illegible]であらう』九『へエよろしうございます、[illegible]承知でございますか、そんならその息を吐いてもよろしうございませうか』忠『うそといふ譯ではない、戰場のうそは方便といふ場がある時も許顛だ、決してうそとはならん、味方の勇氣を張立て敵の鋭氣を挫く、これを名付けて、[illegible]といふ』九『ハヽア畏りました』と高木九助が忽ちの間にそれなる首を槍に突掛けたるのを持つて、高松のお櫓へ昇つて參りました、時は夕暮れ、大音もヤットた、[illegible]見へるか見へないといふ時分であるから、大音上ずたる處の高木九助は九『ヤア〳〵敵も味方も近寄つてよく見られよ、この首は人も知つたる處の[illegible]の大將武田信玄の首なり、徳川家康の身内において高木九助忠直といふ者が打ち取つたる首なり、[illegible]

[illegible]

元旦早々嘉會洞に　又も居直り強盜
客を裝ひ飲食店を脅かす
三人組捕へられず

年末年始に突發した強盜事件を[illegible]として昨年は物騒[illegible]明けて一月一日、人々はまだ屠蘇の香に醉ひしれてゐる午後九時頃、京城府嘉會洞一四番地に又もや學生服を着た三名の若者が入り來り[illegible]約三圓位の酒食を喫したのち、[illegible]一人は懷中に隱し持った短刀を拔きはなつて温突内に闖入し、金箱内にあった現金七圓七十八錢を奪取しそのまゝ何處ともなく逃走したもので、急報に接した鍾路署では[illegible]犯人の行方を嚴探してゐるが二日午後一時まではまだ[illegible]なく一名として[illegible]附近住民は不安に驅られてゐる



初荷

二日は雲にくれ、二日は雪に明け[illegible]この日、各商[illegible]は、一般の[illegible]勇ましく[illegible]威勢よく[illegible]

烈風に煽られ　遂に全燒す
ストーヴから出火
けさ宣教師邸燒く

二日午前九時府内東四軒町五十一番地宣教師ニューウィル方二階から出火直に消防手が駈けつけ消火に努めたが折柄の烈風に煽られ同洋館一棟を全燒して午前十時半鎭火した損害は一萬五千圓で同家族はニューウィル氏[illegible]の外に内地人女中二人だけの少家族で火の手が余りに早かつた爲布團二枚を出しただけで全部燒失した出火原因は[illegible]ストーブの火から[illegible]

人氣を集めて　少女歌劇大盛況
けふ二日からは　晝夜二回づつ公開

本社後援京城公會堂における東京少女歌劇團の公演は熱的人氣をあびて一日は入り切れぬ程の盛況、午後六時半コーラスの流れによつて『小鳥の島』の幕があき『少女の心』[illegible]次いで『赤い帆船』[illegible]であつた

東京少女歌劇團（本券切捨持參の方に限り優待）（毎夜一名まで通用）
京日愛讀者 **優待割引券**
正月元旦から向ふ五日間
毎夜六時から　於京城公會堂
入場料 1.50を…1圓00に　小人30錢

謹賀新年

湖南線　江景土曜會

湖南線江景新町　荒卷醬油醸造所　電話一二三番

湖南線　江景電氣株式會社　電話五五番

湖南線江景南町四七　原重貫

光榮
全國百餘萬の本會會員會友諸君に謹告す

【全國】に散在せる大日本國民中學會員會友諸君！本會が創立以來實に廿五年間、通信教授に依る中等教育の普及に努力し來て各種の施設方法に依て國民文化の向上に寄與しつゝあることは既に衆知の事實であるが、今後はからずも本會多年の努力と事業が[illegible]

【大聽】に達し、其の通信教育に依る國家的功勞を[illegible]理由を以て、本會の創立者であり主事である河野正義は、[illegible]光榮に浴し[illegible]

光榮[illegible]

「正則中學講義錄」[illegible]

大日本國民中學會
東京府[illegible]
新入會希望者には講義錄見本、規則無代進呈

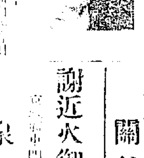
今朝出火ノ際ハ早速御馳付消防ニ御盡力被下御陰ヲ以テ家屋ハ全燒致候モ幸ニ人畜ノ死傷ヲ免レ無事避難致候間御安心下サレ度不取敢以紙上御禮申上候
朝鮮京城府四軒町五十ノ三
日本組合基督教宣教師
エイチ、ビー、ニウエル

時計 貴金屬 寫眞機 材料一切 金銀錫器 幻燈器
株式會社 大澤商會京城支店
京城本町壹丁目
電話本局長二六二番 長三三九番 長四八〇番
振替京城二三一番

謹近火御見舞　京城[illegible]　關谷長之助

謹近火御見舞　泉　哲

懸賞尋ね人



金波樓

謹近火御見舞　佐伯末吉

謹近火御見舞　渡邊　晋

謹近火御見舞　德光美福

謹近火御見舞　京城百花園

謹近火御見舞　作　一男

謹近火御見舞　東四軒町四八　大原利武

外交時報
新春倍大號
◇對支新政策 ◇波斯の英露抗爭 ◇今年の外交問題 ◇大戰外交の一節 ◇太平洋と帝國主義 ◇米國に於ける三權分立主[illegible] ◇現下世界の二大問題 ◇朝鮮を如何 ◇國際法上主體としての民族 ◇ディキド・アーカート [illegible] ◇帝國政局の變化 ◇歐米支那軍事[illegible] ◇本年の佛國政界 ◇對支干渉の可能 ◇滿洲政策の一面 ◇日本海運の十大缺陥 ◇生きんとする歐洲各國 ◇理想郷に適する支那 ◇榎本武揚子 ◇スラーヴ民族の新興 ◇葫蘆島築港 ◇支那の移動性 ◇在外鮮人問題 ◇民族とは何[illegible]
外交時報社

正月三日、四日兩日間
三越の初賣出し
十圓以上現金にて御買上の方に福箱進呈
新春のお娯みに……
ビクター・レコード廉賣
在庫品に限り破格提供　八十錢より一圓五十錢まで
三越呉服店　京城

雙龍……朝鮮古器物から

龍の話

理學博士 石川千代松

昔日から龍といふものは何れの國の話にもある樣で、殊に支那では龍は尊いものとしてある。であるから天子の顏を龍顏といふたりしてゐる。處が龍といふ樣な動物が本當にあるものであるかと聞ふて見ると、それは誠に怪しいもので、支那の繪にかいてある樣なものは誰も實際見たものはあるまい。然し動物や植物に龍といふ名を付けたものは澤山ある。例へば草に龍膽といふものもあるし、龍眼、石龍芮だの、龍舌草など、竜爪龍、石龍内だの、龍舌草などいふものもあるが、實際龍の骨は誰も見た事はあるまい。それから又石器時代の龍骨などいふものもある。又動物にも龍の落し子といふものがあるし、伊勢エビも又龍エビといふ。それに魚に龍躍魚といふものもある。それから又龍腦といふものがあるが、これは龍の骨といふものではなく大きな化石の骨を龍骨といふ樣で、支那でも瀬戸内海の海底から澤山出るし、この外諸方から化石になつて出るものがあつて、これを一般に龍骨といふて居つて、支那の藥屋には象の骨もあれば又鯨の骨もある。これに牛の骨も鹿の骨もある。これ等の骨は本當に龍の骨だとは誰も思つて居ないのであらう。たゞそれが龍骨といふ名が付てあるだけだと思はれる。印度天子の顏を龍顏といふのと同じ樣で誰も天子が龍だとは思ふまいが、天子を龍顏と同じ樣であるだらう。然しこの龍骨といふものは色々の動物の化石の骨をいふたものである。

大抵は何れも瀬戸内海から澤山出る。無論これ等龍骨が何かの役に立つといふやうな事は全く迷信で、それが藥として利くならば、魚の骨でも何でもきく譯である。處でこの龍骨といふものは博物學者の目から見れば面白いもので、それが又瀬戸内海のやうな海から出るといふのは不思議ではなからうか。龍も知るやうに百人一首の内にある末の松山波こさじとは……と云つて、彼の高い岸に介類の化石がある、と同じ樣に海の中から隆起動物の骨が出て來るのではないか。しかし動物の内には又支那で龍といふたやうなものもないでもない。それは南洋の諸島に産する飛龍(フライイング、ドラゴン)といふもので、これはトカゲの一種であるが、その脇腹から皮が出へてそれで空中を飛ぶのである。それから又木賊の近海にも澤山居る海馬は又龍の落し子といふが、その形が如何にも繪にかいた龍に似て居るからである。それから又中世紀の頃にはトカゲの中間物の樣なものが居てそれが又繪にある龍の樣である。ここに出したプレロナウリアといふ樣なものは今日居たらば確に龍だと思ふであらう。

除が龍といふものは色々の人が想像をして色々の事をいふたものである。たとへば龍巻といふものも、あれは龍が天上するのではなからうかといふ樣なものである。印度洋邊りで龍巻を見ると如何にも龍であるかと思はしめるが無論、はいきた龍などでない事はわかつてゐる。然しむかしの人だの今の人でもまだ物理のわからない人などにはそれが龍であると思ふものがあるのである。何にせよ龍といふものはむかしから今にも諸方にあるもので、スサノオのオロチからドイツのシイグフリイドが退治した龍、英國のセント、ジョージのドラゴンといふやうに西洋にも日本にもそれがあるのであるか、或は大體は同じ樣な處から出たものであるから同じやうな事を方々で考へたのではあるまいかとも思はれる。何にしても龍といふものはなかなか面白いものでいづれの國にもそれがあるのは又面白い事ではあるまいか。(完)

龍の說

吉田雄次郎

辰は龍なりとは俗間にいふ所で、龍は十二支中の辰に當り、申は猿に當るとする事は今更新しく述べるまでもない。

龍が天子に

擬へらるゝとは何人もよく知ることで、龍の字は君の意を含ませてゐる。『廣雅』に『龍君なり』とあるを以ても證すべきである。その服裝だが、俗は『龍のひげ』の御衣を意味するのである。龍顏とは天子の御顏で、龍顏とは天子の御顏を意味する言葉として引用せらる。さきに明治大帝崩御の際の内閣總理大臣西園寺公の謹話中にも『龍顏の御樂を拜み謹み謹覧の極め難きを』とあるは文字をあてゝある。入來の軒下に植られ、濃紫の花が咲き、藍緑色の小實を結ぶ一種の草の名である。

[illegible]

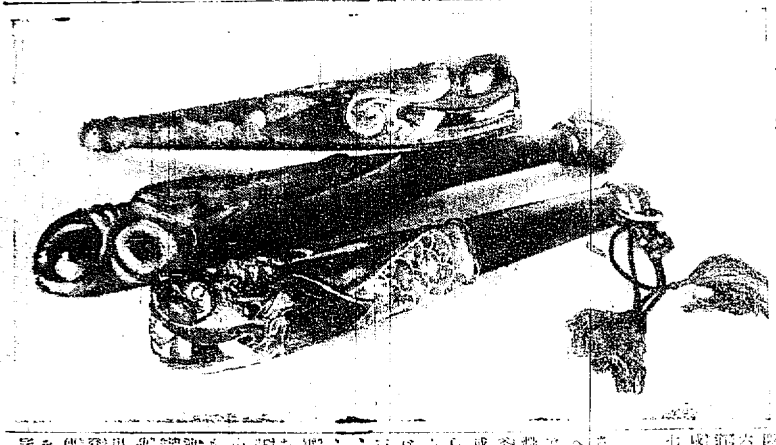
龍頭と通信

例にいへば昔の龍頭で、朝鮮の中に用ひられるが、この昔は大臣に限つて用ゐられ、歷代の武將中、源義家、新田義貞などが用ひ『保元物語』などにも古き戰物語りにある。龍頭とは[illegible]である。しかし今は[illegible]。又手水鉢の水吐口にも龍頭が多く、その他器物の裝飾にも多くの龍頭が用ゐられる。又時計の龍頭とはいへば懷中時計の螺旋を卷くに用ゐる龍頭の形をとつたものである。

雙龍は[illegible]といふよりも「虎穴に入らずんば虎兒を獲ず」といふ一種の格言ともなるほど双龍の實であるから一種の[illegible]。龍門の[illegible]は[illegible]と云ふ。龍門とは[illegible]へ、龍の[illegible]。

龍が[illegible]。[illegible]は龍の住む處として[illegible]。龍泉[illegible]は[illegible]。

が、自分の郷里金澤地方ではこれを『インキョウのメダマ』といひ子供がお手をつないで遊ぶとき『インキョウのメダマやね、仲よしやーねー』と唱を組んで仲をよくした事を表現する印となるのであるから、隱居の眼球から轉化したものではなからうかとも思ふ。龍頭といへば鷁首と相對して一つの熟語をなし、船首に龍の頭を裝飾し又は鷁の首を附したる服飾美を極めたる畫船にて天子の御座船を稱するのである。龍はよく水を渡り、鷁はよく飛んで風に耐ゆるゆゑにこれを船につくるといふ說がある。(又)



龍棒……(朝鮮の古器から)

尾の末端は

長く尖がり、色は褐色又は白きものもある、これを乾燥すれば尾鰭は內部にまきあがる。この雛龍を婦人の鏡に擬すると安產の守護となると信されてゐる。龍尾といふのは內裏、大極殿の御階にある階段で登つゆて龍尾道又は龍尾壇ともいふ。龍子といへば蜥蜴

御年はじめ上和下睦の匂ひかな……老鼠堂機一氏筆

かも馬の如く胴體は鰕に似て全身には稜のある甲を帶び腰から下の稜は四角になつてゐる

白龍魚服は

知』とあるもの即ちこれであり、龍は俗語『モグラ』で白龍は謫仙の衣に現る、遊人である』

白らかろんじて不虞の難に罹りしを意味する故事である。臥龍は孔明未だ南陽の草廬を出でざる時の綽名である。並に鳳雛を配すれば龐統の綽名となり、龍蟠三片は北條氏の紋所である。龍袞とは闕靈で織つた錦の衣で古き畫に『りうびん』

上つて居る

[illegible]に六十四、忠淸南道に九十五、全羅北道に二百七十六、全羅南道に四百四十三、慶尙北道に百十一、慶尙南道に八十七、黃海道に百十六、平安南道に百九十八、平安北道に百二十二、江原道に六十六、咸鏡南道に百四十九、咸鏡北道に七十一、合計千八百五十五ヶ所に上つて居る。

されば內地といふ小字俗稱等を加へたならば、もつと多數に上るであらうが、この外に金剛山の九龍淵、全北の靜龍山、京城の龍山、各山の龍頭山、龍尾山等の如き、或は白頭山上龍王潭などを數へたらば、到底その數に達するはいふまでもない。由來朝鮮の地名には頗る詩趣に富んだものが多い。三仙里、龍濟里、梅花里、瑞谷里、月谷里、双流里、玉溪里、觀月、秋風嶺、秋溪、梅谷、鳴鶴、鳴鶴里等その一端ではあるが、龍にちなめる地名にも又捨難いものが頗る多い。然してこれ等龍にちなめる地名は瀧、淵、潭、澤、池、泉、沼、湖、津、江、川等に結びつけられてゐるのは朝鮮人の龍に對する觀念の一端を知る事が出來る。殊に龍宮、雲龍、升龍、登龍等の名稱を多く見るは內地の傳說と何等かの共通するものがあるを想見する事も出來るのである。(完)

京城府黃金町二丁目 電話本局二八一七番 銀松亭

京城府明治町二丁目四十七番地 松本寫眞製版所 電話本局二八一一番

白生地と京染 京城本町二丁目 みのや呉服店 電話長本局一四六二番 振替京城六三三八番

京城府永樂町二丁目 新日本火災海上保險株式會社 京城支部

謹賀新年

京城本町二丁目 本城屋商會 電話二三四三番

京城南大門通五丁目 三拾八番地 朝鮮火藥銃砲株式會社 電話本局一〇五〇・一〇七九番

京城府本町二丁目 江戶川 電本一四六番

京城黃金町四丁目 早川看板店 電話本局二四七六番

京城府蓬萊町一丁目 圖案・石版・タイプ・印刷 合資會社 野津集文堂 電話本局一五二七・二〇七〇番 振替京城一二〇六〇番

京城府太平通二丁目四十四番地 帝國地方行政學會朝鮮本部

京城府黃金町七番地 日本工業合資會社 京城出張所 電話龍山拾貳番

京城漢江通七番地 龍山信用組合 電話龍山一〇一番

京城府明治町二丁目六十九番地 島田利吉

京城府水標町五三 德永商店

李王職事務官長從四位勳三等 李恒九

京城府岡崎町七〇 村木商 三幸洋行 山名松太郎 電話龍山一六八〇番

京城府漢江通一五 東亞蠶絲株式會社 電話龍山一三五番

京城府本町二丁目 松金 電話本局六八六番

永樂町 中央廉賣所

旭町一丁目三二 小村榮三

京城辯護士會

陸軍御用達 荷車組合 運送業 丸英社 主 李英稷 京城府太平通 電話光化門一〇六〇・一〇六一番

醬油の王 龍 キッコーリウ ほまれ味噌

資本金三千萬圓 造高五十五萬石

懸賞募集

一、課題 味噌を使ふお料理の拵へ方
▽なるべく人の注意をひくもので、たくしい料理ならば、それを使つたお料理をなるべく詳細に認めて下さい。
▽四季何れにも最もふさはしい料理であるかを記入して下さい。
▽用紙隨意、一人一種以內原稿返戾せず、住所氏名を明記のこと。
一、賞品 一等腕卷金時計一名 二等腕卷銀時計二名 三等龜甲龍醬油小樽三名 四等ほまれ味噌小樽五名 選外五十名へ粗賞呈
一、締切 昭和三年一月三十日
一、選者 割烹界の大家及本社員
一、發表 入選者氏名は新聞紙上、但佳なるものは「美味しい味噌料理の拵へ方」として美麗な冊子に纏め廣く一般に頒つ。
一、宛名 京城蓬萊町 野田醬油株式會社京城出張所廣告部

京城府漢江通八 金物商 島田忠作 電話龍山一〇九番

京城公立中等學校以上校長會

京城本町二丁目 株式會社 京城美術部

遠藤豐三郞

岡崎町六ノ五 建築設計 相澤工務所 電話龍山一〇六番

備藤祐盛

京城府南大門通五丁目五六 各國時計貴金屬 株式會社 明時堂 電話本局二三〇・四〇〇番

京城府漢江通十三 朝鮮運輸計算株式會社 電話龍山一四四番

京城府黃金町二丁目 高居瀧三郞

京城府本町二丁目 雜貨 洋家具 商 株式會社 橫山商店 電話長本局一六七番

京城本町二丁目 蓄音器 中村商會 寫眞部 電話本局二六五番

京城湯屋組合

京城明治町二丁目八番地 山陽堂印舖 谷宇八

京城驛前 備前屋旅館 電話一四一二番

社團法人 京城放送局 理事長 橋川克彥

謹賀新年

京城府黃金町二丁目
鐵鋼 伊藤商行
京城出張所
電話本局七一七番

土木建築請負
服部組
京城府漢江通十一
電話龍山五五六番

豐國セメント株式會社
京城營業所
主任 吉川宇造

土木建築請負
合名會社 盛陽社
京城府漢江通十一
電話龍山一六五番

鴨綠江製材
無限公司京城支店
京城府漢江通十五
電話龍山二二九・一九一二番

京城櫻井町一丁目
オフセット印刷 ジンク及アルミ印刷 平版印刷
合資會社 東洋堂印刷所
電話本局二六二四番

京城府花園町四一
土木建築請負
岡部商會
電話本局一六七三番

京城府古市町四三
東京川崎工場京城出張所
松澤頼吉
電話本局(特長)二五五七

京城南大門通五丁目
城南電氣商會
安藤直敏
電話本局一〇一九番

京城府漢江通十三
土木建築請負
荒井組
電話龍山二〇二番九五六番

大阪海上火災保險株式會社
京城出張所長
圓城寺孝藏

京城南大門通商業會
笑福旅館
電話本局一五五一・三六一一番

野球用具 庭球用具 籠球用具 蹴球用具 陸上競技用具 運動服裝
京城府南大門通三丁目六番地
京城運動具商會
藤野敏夫
電話本局一〇四・一〇六八・一九五二番

京城府花園町
公設市場販賣人組合

朝鮮土地經營株式會社

京城羅紗商組合

京城府若草町
西本組京城支店
電話本局一九五六番

合資會社
清水組京城支店

京城府南大門通二丁目
日本紙業株式會社
京城支店

京城南大門通一丁目
南大門食堂
電本四〇六四番

京城府明治町二ノ七二
パン菓子製造元
木村屋

京城府水標町四拾番地
京城ラヂオ印
複寫紙製造所

京城府明治町一ノ五九
御料理
末廣

京城府本町二丁目
梶原末太郎

中央物產株式會社

京城府本町三丁目
食料品
近藤安吉商店
電話本局一五六・二二一番

京城南米倉町
和田常市

京城府南大門通一丁目
大倉洋紙店
京城出張所
電話本局四九〇番

(明治製菓月賦提供)
合資會社 日章堂時計店
京城府永樂町貳丁目
電話本局一八七四番

京城黃金町一丁目一九九番地
電氣器具販賣 電氣修理工事
森電機商會
森安一
電話本局三三四八番

京城府南山町三丁目
京城ホテル
電話本局四九二・一二三〇

京城府本町二丁目
日韓書房
電話本局一四五番

瀨戶病院
瀨戶潔
京城府旭町二丁目
電話本局二四九六番

土木建築請負
楠見組
電話龍山八四九番

京城府旭町一丁目
鹿島組出張所
坂井清治
電話本局一九六番

彌生町貸座敷組合

齋藤合名會社

豐國製粉株式會社

京城本町一丁目
平田百貨店
電話本局六九五・七二九・一八五番
旅館部 二三六・二五八〇番

總督府專賣局食堂員

田中半四郎
京城若草町

資本金 五百萬圓
日本共立火災保險株式會社
取締役會長 原錦吾
本社 東京市京橋區南鍋町二ノ六
京城出張所 京城府本町三丁目
出張所長 三鍋才次郎
鮮內代理店所在地 京城、仁川、釜山、大邱、大田、群山、全州、木浦、平壤、鎮南浦、元山、咸興、新義州、馬山

ダリヤ饅頭
ダリヤ進物店
ダリヤ喫茶店
京城長谷川町

初田製造所
販店

京城府大和町
下田洋服店

各種パン和洋菓子製造元
神戶屋
京城永樂町二丁目
電話本局二〇一六番

龍山驛前
太陽旅館
電話龍山一六番

井上製綿所
京城府岡崎町
電話龍山四七八番

京城府旭町一丁目
澤井舗
電話本局一六六九番

京城府本町一丁目
藪そば
電話本局九一二番

京城府太平通二丁目
相川商店
電話本局二八九番

京城本町二丁目
井上商店
電話本局一三七五番

京城府本町二丁目
木島時計店
電話本局一三九番

京城府黃金町一丁目
岩田寫眞館
電話本局

京城府林町二七五番地
小高榮三郎

本明雜木店

京城本町三丁目八一
石川物產商會
電話本局一八八四番

京城府明治町一ノ五四
表具師
佐藤祥芳堂
電話本局一九六二番

土橋金光堂
京城本町二丁目
電話本局六二七一番

玄武堂
京城府旭町一丁目
電話本局一八五二番

木島時計店
京城本町三丁目
電話本局一三九番

關理三
京城府永樂町一丁目
電話本局四七六番

京城驛前
カフェーダイヤ

京城本町五丁目
長崎屋

京城府明治町
文房具商
野口商店
電話本局一五八七番

龍山酒類
食料品組合

總督府醫院職員一同

日清生命保險株式會社
京城支社
京城府太平通二丁目
電話本局一四九六番

京城永樂町二丁目五二番地
帝國製麻株式會社
京城出張所
電本一八三〇

京城本町二ノ一〇
鳥料理
喜久家
電話本局一三八三番

京城本町二丁目
北島藥店
電話本局一五九五番

京城煉瓦共同販賣所
京城府黃金町二丁目

日本赤十字社朝鮮本部病院

京城府大和町一丁目
淺野セメント株式會社
京城出張所

京城府竹添町三丁目
杉山製作所
杉山久

京城府太平通二丁目
多田工務所
電話光化門一二二番

京城府南大門通二丁目
高瀨合名會社京城支店
電話本局二六九番

東京火災保險株式會社
京城支店

株式會社
京城劇場

京城府鍾路二丁目
橫濱火災海上保險株式會社
京城支店

京城府長谷川町
金川組
(電本二八四番)
京城太平通一丁目
金川食堂
(電光一四四番)

京城府榮町七番地
堀內組京城支店
電話龍山九一五番

山十製絲株式會社
京城出張所

日清生命保險株式會社
朝鮮支社長
高澤源三郎
京城府太平通二丁目

京城府太平通二丁目
富田屋羅紗部
電話本局五一九番

京城府南大門通一丁目
中山洋紙店
電話光化門一三四一番

京城黃金町二丁目日本生命ビル內
花月食堂
電話本局二一五七・三六六〇番

京城府長谷川町
宮林泰次

京城本町一丁目
旅行具商
高木鞄店
電話本局長一三四番

京城南米倉町
食料品商
辻本商店
電話本局七五・六四一番

ラージ自轉車發賣元
株式會社
日米商會京城支店
鎬木與四次郎
社員一同

京城齒科醫師會

京城府元町一丁目
朝鮮製綿株式會社
電話龍山長二一六番

京城府太平通二丁目
合資會社
西崎商會
電話本局

京城日報　其二

依然として整理の時期

朝鮮殖産銀行頭取　有賀光豊

騒擾に拔はれし闇の年を送りこゝに昭和三年の新春を迎ふるに當たりまして過去財界の推移を回顧しかしてその將來に對する所見を述べんに、昨年三月に初まり四月において昂潮に達したる內地の金融動搖は政府の緊急施設によりさいはひに＝鎭靜＝に歸したけれども一旦破壞せられたる信用は容易に恢復するに至らず、金融機關は[illegible]を失ひ『モラトリアム』前後其後において中小銀行の預金が一部有力銀行に集中し、或は郵便貯金となり若くは債務整理化しその額十億圓に達したと稱せられて居るが、この關係によりわが財界の狀態は一段と深刻の域に入り加ふるに生産市價の陰落、米價の暴落等に從つて資金の需要なきは勿論[illegible]これが運用の途に窮し、その結果は日銀『コール』日歩、銀行の預金利率の低下となり、國債の暴騰となり、更に公債市場の活況となつたのである、[illegible]

＝金融＝の緩慢、遊資の[illegible]を反映せるものに外ならない。然してこの現象は遂に大銀行を主とし十四日の東西聯合銀行の預金利子引下げとなり、次いで日銀の公定步合引下げとなつて現れた[illegible]

これを要するに、昨年の金融恐慌以來今日に至るまでの內地における金融緩慢、遊資増加及び金利低下の狀態は前述の如く（一）資金の偏在（二）商工業の不振に基づく資金需要の減退（三）物價の[illegible]（四）銀行の[illegible]の如き經濟的現象を主因として形作られたるものであるが、仔細に觀察すれば金融界は金融恐慌を轉機として確に一轉機を畫したもののやうである。それは（一）現在日銀の民間貸出はこれを昨年の同期に比すれば[illegible]の增加を示して居るが、これは主として各銀行の預金その他の債務支拂の資金に充てられたるものと見なければならぬ。

＝從來＝ これ等の銀行はその固定貸の資源を公衆預金でまかなつてをつたからこれ等銀行に取りて預金の減退は實に致命的打擊に相違なかつた、從つて預金が非常に[illegible]となり預金々利の競爭となつたのであるが、[illegible]日銀がこれ等固定貸の肩代りをなしたことゝ同樣であること（二）次ぎに『モラトリアム』以來預金の大銀行集中の結果は大銀行の預金利廻りの低落並に貸出金利の低下を誘導し、自然に中小銀行を驅逐し銀行集中化の氣運を釀致したこと等で、かく觀察してくると我金融は變態的の中にも余程健全的に改善せられた點のあることを看取することが出來る。然しながら[illegible]公債社債の[illegible]債市場も最近其一角に多少行過ぎの氣配を呈したる如き、休業銀行整理も兎角遲延がちで其の結末までには尚相當の日子を要するもの如き、又一時中止のていにある金融緊縮の問題も前途に橫たはつてゐるなど、金融の前途は樂觀を許さぬと思ふが、たゞ現在の實狀にてらし金融が目先きなほ緩慢を持續すべきことは

＝推測＝ しうべきことのやうである、もしそれ商工業方面に至りては近き將來に捗々しき景氣の好轉を期し難きは勿論のことであつて、結局本年もその大勢に

おいては依然整理を脫せざるものと考へらる。」

ひるがへつて朝鮮は內地とやゝその事情をことにする所があり、昨年の金融恐慌に際しても金融界に何等の不安を見ず、その後も引續き平靜の狀態にあるが、しかして本年の朝鮮經濟の基礎をなす昨秋の穀類農產物の作柄は天候適順なりしによりいづれも豐作であつて、これを生產の大宗たる米についてみるもその收穫高は前年に比し一割二分三厘の增收にあたり生產的には余程惠まれてゐるが、米價は前年に比し二割余の暴落にあたつてゐる、然しながら諸稅その他經濟資金の需要のため例年の如く歲末にあたり値頃の如何に拘らずやむを得ず放賣せる向き多かりしもの如く、農村はいはゆる豐作時の凶年を如實に現した觀があつた。かゝる事情に際しこれが救濟策として政府は昨年の米穀法の運用および倉庫の設置が一層痛切にその必要を感ぜらる次第である。」

＝仄聞＝ する所によれば米穀法の運用については內地當局において相當の了解ありしおもむきであるが、速かにこれが實現を期望する次第である。

さもあらばあれ朝鮮は各方面とも開發すべき余地なほ頗る多きを以て、打續く財界の不況裡にありてもその產業が逐年旺盛なる發展を遂げつゝあるは各種統計數の立證する所で疑ひなきも、朝鮮の經濟がその大局において內地の影響を受くるはまた當然のことであり、本年財界の大勢が依然として整理の時期に屬するは叙上の通りであるに、未だ整理完了に至らざる向きは此際に存ずると思ふ、ゆゑに吾人は金融緩和のこの時期において一面には更に整理の徹底を期すると共に、他面には眼を注めて適切なる施策に遲誤すべきであると思ふ世人と共にこの意氣を以て光輝ある昭和三年に處したいと考へて居る。」

本年の株式界

＝金融景氣出現＝

京取專務　平岡光三郎

本年度財界の推移如何について一言せんか、我經濟界は昨年の金融恐慌を以て一轉機を劃し本年より好轉の

＝第一步＝ に入るであらう。久しきにわたる事業界の整理明けと財界の安定、金融緩漫、金利低落、物價の底突きにより徐々好轉に向ふべく、若しそれ有價證券界においては、低金利の大勢並に金利低落、事業界の安定、好轉見越に基づき相當に活況を呈すべく時に或は百花爛漫の盛況を現出せんやも計り難い、要するに財界の前途は余は悲觀論者ではない、むしろこれを他に讓り茲に本年の株式界について愚見を述べて見よう。

世間の一部には經濟界の景氣不景氣と株界の好不況との因果關係に付き混同したる考を抱き此の不景氣時代に株式高は不合理であると云ふ人があるが、之れは前に前述の混同觀念に陷つたものと思ふ。株式高には積極消極又は正常變態の二大原因があつて、商工業界が活氣を呈し企業利潤增加し株式配當も增加せらる時代の株式高は即ち正常的積極のもので吾人の最も希望する所であるが、此外にも一般が不景氣の爲め事業萎縮し金融緩漫となり金利が非常に低落する時代には金融、金利關係より株式高を出現することがある。之れ即ち消極的變態的のもので株式界で所謂金融景氣と稱するものである。然からば

＝株式界＝ は如何なる現象を呈すべきやといへば昨年の第二點に屬するもので、不景氣時代の株高であると信ずる。私が株界の金融景氣出現を高唱するゆゑんは經濟界の內外兩方面より考察して確信するものである

涉外的事情 より見れば（一）米國經濟界の好況持續見越（二）內外物價の平均（三）對支關係相當の低位保合（四）貿易關係等で我が對外貿易は本年に於ても左程悲觀の要なかるべく、昨年度の米豐作による外米輸入減又は物價並に爲替相場低落安定に基く輸出促進、內地不景氣による輸入阻止等により昨年度よりも一層好轉するに非ずやと思はれる。

國內的事情 より考察したる株高原因は（一）金融緩漫並に金利低落（二）事業界の安定と好轉見越（三）非經濟的諸因等である即ち昨年下半期以降の金融は漸次緩漫となり從て金利も大に低下した、併し金融緩漫に[illegible]の一部に限られ亦金利も一般的低下を見る事が出來なかつたが、本年度に於ては休銀の整理完成に基く固定資金の[illegible]出、事業界安定による金融業者の警戒等により金融は一層緩漫となるのみならず、[illegible]であらうと思ふ。併し商工業界は尚當分は不振を免れざるべく物價低落の爲め事業資金の需要減退により緩和し、從つて金利も一層一般的に低下すべく[illegible]

未來議株が一般的に騰進傾向を帶び來つたのは其一證である上述の如く金融安利に加ふるに事業界安定するに至らば此處に株式利廻標準の低下すべきは經濟上當然の歸結なれば、從來公債社債の低利廻に比し甚しく此標準を失せる株式利廻りも相當程度迄低下するに至るべく。利廻低下は即ち株價の騰貴である。以上は何れも經濟的方面よりする考察であるが、茲に閑却することの出來ぬのは本年度には株界を刺戟する有力なる非經濟的原因が存在する事である。

それは一は誠に畏れ多いことであるが今秋の＝御大典＝と、一つは今春行はるゝ衆議院議員の總選擧である。總選擧には數千萬圓の選擧費が撒布されるがゆゑに之は確に中下層階級をうるほすこととなり、又選擧の結果いかんによつて政變が少くないであらう。もしそれ株界にもおよぼす影響は[illegible]即位の御大典に至つては、實に曠古の一大盛典であつて久しき[illegible]の沈滯したる人氣は大いに陽氣し必ずや御大典人氣なるものを出現するに至るであらう。經濟現象なるものがたゞ經理のみに基かず人氣作用によつて左右せらるゝことあるを知るものは今秋の御大典が株式界におよぼす影響を無視することは出來ぬであらう。」

不景氣と農村

高橋龜吉

あたかも機械が回轉するには蒸汽か電動力がいるやうに、今日の資本主義經濟が回轉するには、資本家に『利益』がなくてはならない。その利益といふ火が消えると、いかに機械はあつても、如何に勞働者は働かうとアセッても、事業は動かうとしない。さうして、いはゆる『不景氣』が襲來する。だから、資本主義經濟の下においては、景氣がよくなるためには、まづ、資本家に『利益』が約束せられることが何よりの必要である。

ところで、資本家に利益が約束される道は二つある。一つは生産費を安くすることである。一つは製品の販價が高くなることである。然るに、販價を高くするといふことは、今日の世の中の經濟組織の有樣では容易にこれに望むことが出來ぬ。現に、日本の財界が斯樣に不景氣である原因は、要するに物價が高くて、外國にドシ／＼ものが賣れないからだ。日本のものよりも輸入品の方が安いといふ有樣であるからだ。

こゝにおいて、この際、この不景氣を脫して、景氣をよくするために、資本家にもうかる道を作るには生産費をやすくするより外にない。ところで、今日の世の仕組の下で、生産費をやすくする道はすくなくとも三つある。

一は生産の組織を改善して經費を節減することである

二は勞働者の賃銀を安くすることである

三は原料品を安くすることである

（一）は資本主義の發展期においては最も

＝旺んに＝ 行はれた方法であつて、各種機械の發明から組織の改善までこの中に這入る。最近歐米に有名な産業の合理化運動なども又この中に入るものである。だが、今日における日本の資本家は、一向、この方面にいまだ全力を擧げてゐないで、專ら、（二）および（三）の方法をとつて來た。

しかし（二）の勞働者賃銀の引下げといふことを、或る程度以上に行ふことは、なか／＼困難だ。時となれば勞働組合運動で反擊されるやうになつてオイソレと、資本家の思ふ通りには勞働者はもはやならないからである。それでも、從來勞働者の賃銀引下げによつて、資本家の採算はよくなつて來たものだが、なる程、賃下げた額は割合に少いが、しかし或は色々の手當を減じ、或は別給を中止し、或は解雇して更に新米を雇ひ入れたり、或は勞働時間を長くするといふ方法で、實際には、可なり賃銀を減じたことになつたからだ。

しかし、わが資本主義の弱は案外に深い。以上だけでは、なほ、その不景氣を回復するに足らない。こゝにおいて、資本主義の仕組みが、最後に目をつけ出したのが農村の搾取である。

＝利益に＝ なる。第一に原料品は安いだけ商工資本家からいふと、第二に生活資料が安くなる。それだけ勞働賃銀が安くなつて、それだけ勞働賃銀を安くさせることが出來るからである。そこで、不景氣がかやうに深刻になつて、何とも外にこれを好化さす方法がないとなると、勢ひ農産品を引下げるといふことに、努力が集中せられる。日本においては、先づ米價、絲價等の農民物に[illegible]

內地米を移植し、こゝより多くの米を移入することによつて、內地の米價を引下げるといふことが、徐々ながら努力せられて來たが、近年におよんで、その效果がいちじるしく現れるに至つた。例へば大正七年頃までは、朝鮮からの移入米は一ヶ年二百萬石內外に過ぎなかつたが、近來は七八百萬石に增大し、なほ、今後更に增加する傾向にあるやうである。最近における米價の下落の原因は去年の豐作の外に、要するに、こゝにあつたといつてもよい。

だが、無論それだけが原因ではない。一般の物價が下つた。それにつれて農産品もドらねばならない。さうでなくては資本家がもうからなくなるから……といふ、資本主義そのもの仕組が著しく作用して來たことが、またの原因である。然してこの方の作用は、ハッキり現れてゐる。いかにも價の上には、いやといふ程

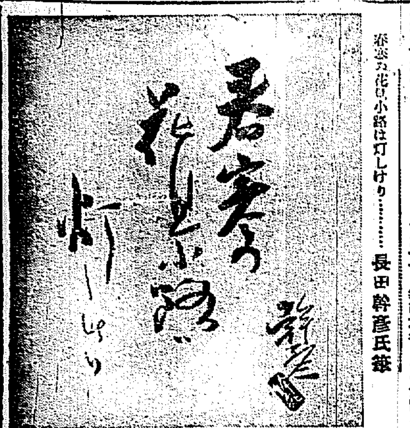
＝生絲の＝ 價段が暴落した原因は、棉花や羊毛といふや、人造絹絲が著しく良品を出しかつ安價であるといふことやがその基本である。だが、生絲業者は、その生絲の下落を農民に轉嫁して、前年以上に繭價の下落を強いて來たのであつた。

かやうにして、農村の經濟は、本年は著しく困難になつた。それと引かへに、商工資本家の採算は、だん／＼とよくなつて、株界などではすでに、昭和三年には財界が良化する見込の樂觀が擡頭しつゝある。農村の犧牲から見ればいかにも不思議であらうが、しかし、今日の資本主義の仕組からいへば、それは當然のことである。資本主義の發展する時代においては、資本主義經濟の好景氣とは、直に農村の好景氣でもあつた。過去においては確にさうであつた。だからといつて、今日も、必ずさうであるべきだと考へるのは誤ひである。資本主義が行詰ると、今度は逆に、商工資本家が好景氣を謳ふためには勞働者か乃至は農民からの取前を減少さして、それで以て資本家の利益を多くする外に、景氣をよくさせる途がなくなるからである。さうなると、財界の好景氣といふことは、勞農、農村の好景氣と必ずしも一致しなくなる譯である。

さて

＝問題は＝ では、農民はどうなるかであるが、斯樣に、資本主義が行詰つた場合において、農民の利益は、最早資本主義とは到底一致しなくなるのであるから、この態度を推して、他のよりも低い態度を打ち破る外にないのである。これをたとへば、農業においては、依然收穫態度のまゝで當時の農村の疲弊を打破しようといふことは到底封目であつた。しかし、これを打破して、明治維新と共に資本主義的經濟が新に建られたからこそ、明治以來の如き一大飛躍が出來たのと、理屈は同じである。

しかし、これは結論である。いま、農民問題の困難を救ふに、農民は如何にする外に道なきかといへば、要するに、他に（小作料を引下げさすことに全力を盡すべきである。一體、資本主義の發展して、農業經營が困難した時代においても、一般的趨勢をしたものは地主であつた。だから、斯樣に、資本主義が行詰つて、農産物價が下落した場合に、その最大の犧牲を負擔ふものも、矢張り地主であるのが理の當然であるからである以上、要するに資本主義の發展における、その行詰り期における資本家經濟と、農村の景氣不景氣との關係が、農村經濟の景氣不景氣に至るものであることを理解してもらへばこの一文の目的は達せられたものである。」



春寒の花見小路は灯しけり……長田幹彦氏筆

春　西山翠嶂畫伯試筆

謹賀新年

黃海道延安　裵東燁

黃海道延安　司法代書人　劉貞夏

黃海道延安　藥商　元聚盛

黃海道延安　菓子舖　孫石崇

黃海道延安　藥商　恒順泰

延安水利組合　常務委員　裵東璨

黃海道延安　司法代書人　洪鍾運

黃海道延安　延安穀物商組合

黃海道延安　藥商　萬成永

黃海道延安邑　延安面評議員　張容九

黃海道延安　すき燒料理　喜樂館　館主　趙鍾勳

黃海道延安　木材穀物商　張星斗　電話四三番

黃海道延安邑　穀物商　全根浩

黃海道延安　司法代書人　方山孫

黃海道延安　藥商　仁和盛

黃海道延安邑　東華齒科醫院

黃海道延安　全世俊　電話三十二番

黃海道延安邑　車允貞　電話十番

黃海道延安邑　延安醫院　院主　申[illegible]浩

黃海道延安邑　三和商店　店主　高永俊　電話十四番

延安公立農業補習學校　長谷川信一

延安農事改良支所　月野安正

黃海道延安邑　井上百貨店　店主　井上彌九郎

黃海道延安邑　永野豐生

黃海道延安　延安精米所　主　金光培　電話二十番

山北由之

海州本町　印刷所　百世堂　電話三〇番

海州本町　料理店　入福

朝鮮醬油元賣捌　鎭海州出張所

辯護士　藤田幸一　事務所　海州本町電話一四一番　自宅　海州中町電話一四九番

海州刑務所　職員一同

黃海道延安邑　延城醫院　電話一三

黃海道延安邑　內田力藏商店

雜貨商　藤井清治郎

黃海道延安邑　笹屋旅館　電話三三番

黃海道金融聯合會

黃海道警察部　佐々木忠右衛門

黃海道金融組合理事一同

黃海道廳食堂員一同

土曜會

松禾郡廳　職員一同

大理石採取販賣部　主　大淵伊吉　電話一七番

平壤吳服商組合
岡本吳服店
吉本吳服店
吉本角店
丸橋吳服店
小林吳服店
三中井吳服店
森下吳服店

蟹――河村虹外畫伯筆

產兒制限

性的道德の破產を憂ふ

將來はどう動く？

醫學博士　永井潜

產兒制限問題は、重要なる社會問題として囂々しくこれを論ずることの出來ぬ種々複雜な關係を社會構成の各層に與へるものである。殊にわが日本の如き年々著しい人口の

自然增加を

見つゝあるところにおいては、他にこれらを移住せしむべき適當の植民地を有せぬだけ、益々この人口問題には惱まされて、これが解決を急がねば國は今に自滅するの外あるまいとさへ一部の識者によつて憂慮されてゐる位である。しかして人口がますます增加するといふことはそれだけ生存競爭が激成されることゝなり、これに附隨して食糧問題その他直接國民の日常生活を脅かす現象を伴ふ結果となる。ゆゑに近時の政治家なども、この人口增加については如何にこれがはけ口を

見出すべき

か、および人口增加の一途をたどりつゝあるこの問題に對しては、激甚なる競爭の裡に擲ひながらその對策の樹立に努力してゐるやうであるが、我日本の如く狹い國土の割合に人口の稠密なる國においては、甚だ困難なる問題として容易に解決を見ることが出來ない狀態である。此產兒制限の問題は將來その可否について論じ盡くされたかのやうに思はれてゐるが、然しながら問題は依然として未解決のまゝ殘されてゐる。

產兒制限に

よつて幾分なりとも人口の增殖を食ひとめ、この問題解決の一端としたいと主張する理想論者は、これを多數に惱める家庭、或ひは子女の出產によつて負擔を重くするところの一般無產階級の間に普及せしめやうとするのであるが、反對論者はこれを不自然有害なるものとして、我國古來よりの美風たる家族制度を破壞するものなりとて極力反對してゐるやうである。いふまでもなく、これが可否を決定することはその爭點するところを

充分に考へ

なければならない。實際にかくの如き人爲的な產兒制限が可能であるかどうか。勿論部分的には母體保護のためとか病毒遺傳の繼續を抑するための避姙法は何人にも容易に施行出來るところであらうが、國民の種々なる階級が子供の出產を避けないといふ中にあつて、これが出產を制限するといふことは、一見理想が健全のやうだが一方實際の裏面を考へなければなるまい。成る程產兒の制限を任意になしうることの便利は、家庭に人口の無限增加をある程度にくひとめることも出來、はた又うまれたところの

子女を立派

に教育しうる點において國家を益するところは非常に大きいものであらう。今日の如く異常な人口の增加に惱む我日本にとつて、識者等が我國の將來を憂ふるは當然であるが、これは一般に望むべくして到底望み得らるゝものではない。產兒制限とか避姙とかは人間が作つた文化の產物たる科學的な一方法ではあるが、一般にこれが普及をはからなくとも、すでにさうした可否の問題が盛んに論じられるだけで、人心に異常なる衝動を與へ、或ひは實際にこれを

行動化する

に至るものである。またこの問題が解決せられぬ前に、一方ではその必要を感じて盛んに施行する人々の間において盛んに實行せられてゐる。よいか惡いかと論じられてゐる間にさうしたことが世界的な國際の思潮として社會に氾濫し、一部においてはこれを濫用し、大いに利を得つゝある者もある代りに、一方には惡用しつゝあるかも知れぬのである。醫學的な產兒制限が行はれ、殊に歐米の先進國においては古くから實行されてゐる。就中フランスの如きはその最たるものとして、その結果人口は年々減退し、次第に

衰運に向ひ

つゝあるとさへいはれてゐる。これはあながちフランスが上下の別なく出產を嫌ひ、避姙ゆゑに產兒制限の方法を用ふるといふ理由によるものだけではなくて、ローマの如く文化の頂へ上る國がその最高潮に達して、次第に衰退の道をたどることはどうすることも出來ぬ自然の成行である。これを今フランスに例をとつて考へれば、ヨーロツパにおける近代文明は、實にこのフランスにおいて實を結んだともいへる。われわれの今日の日常生活は、これを科學の力によつて如何やうにも變化が出來る。文化の度が高くなればなるほど、人間が發明し發見する

科學に力の

よつて人間は本來の自然的な生活とは次第にかけ離れたより向上せる生活をするやうになる。一切の人間の力で、自分自身の生活を最も樂しいものとするためにいろ〳〵な手段方法を考案する。即ち總てのわれ〳〵の生活が、文化の力によらずにはもはや成立しないといふことになる。元來われ〳〵人間といへども生物本來の自然性に依據して生活して來たものである。人間がその自然を征服しつゝ擴い世界に自分自身を擁護しながら遂に今日の文化に到達することが出來たとはいへ、この擴い過程に人間が

直接受けて

來た見へざるバチルスは、次第に體内の奥深く蝕むでゐたのだ。種々な疾病、種々な早熟短命となり、神經衰弱となつたことは今日の文化が生んだ一種の副作用ともいひうることが出來るのであつて、一方にはこのやうな疲れを緩和するためのあらゆる文化的施設がなされるにも拘らず、何らの效果をもたらすことの出來ぬ狀態にあるのである。從つてより優れたる文化を有するところの文明人となればなる程この傾向が著しくなる譯で、文明人は原始人に比して產兒制限の方法をとらなくとも男女ともにいたく

姙娠力を殺

がれる傾向を生ずるに至る。わが國に徵しても、一般に上流階級は子女の出生が少く、反對に下層階級に多產者が多い。わが日本の文明は未だ歐米のそれに比べて少しもすぐれて居ないが、すでにはなやかな日常生活をなしつゝある上流にこの現象あるを見ることは注目すべきことである。この事實についてはその種々の異論のあることゝいふまでもない。けれどもその環境なる衣食住が體に何かすべからざる一つの原因となつてゐることを否む譯には行くまい。これらは實に長い間に徐々として變遷を

體内組織の

各部分に招來するもので、明かに一種の退化を示すものである。然もそれらの環境なる衣食住は、萬人が望むところとして各自は今日の文化がもたらす恩澤を平等に獲得して、おのれの生活をもつと意義あるものたらしめたいと熱望に燃え、またあらゆる場合においてわれわれの生活は改造され年と共に向上しつゝある現狀より見て明かである。これらは自然的なごく自然の推移ではあるが、同時にまた常に進化しつゝある社會の動きとして抗する能はざる力でもある。今後といへども

人間の力は

よくこれら數々の征服を遂に還り來たるところの禍を作るであらう。自滅に陷るが如きとは識者の考へるものでもない。然らば今日いふところの產兒制限問題は今後どうなるであらうか。果して今日以上に盛く社會に分布して濫用さるべき時代が來るであらうか。過去におけるいろ〳〵の例に倣ふてこのことを少しく考へて見やう。子供の出產を必要としないある一部の人々によつて人爲的に避姙の方法をとりつゝある事實は歐米先進國においても見る通り、現に我日本の智識階級にも見るところである今日の如く

社會の状態

が緊迫となり、この小さな國土に每年百萬以上の人間が生れて次第に溢れるやうになつては、生活問題が八釜しく云々されるやうになるのはいふまでもない。この生活難から脫れるために產兒制限の合理的なることが主張されるゆえんであるが、各個人としての利益としては全く無理からぬことである。自我の念強き近代人は、子供の奴隷となつて一生を送ることを欲しない。何よりも自己を中心に生き甲斐ある生涯を送ることのみを念頭に置いて生活する。直に子供を不生產的なるものとしてそれだけ負擔の重くなることに堪へられない

不滿を感ず

るやうになる。然し家柄とか血統とかいふものについて頗る冷淡で、昔の人程その世つぎについて心配するものが少くなつて來たのである。一人か二人の子供があればもう澤山といふやうになる。けれどもこれを大きく國家の立場よりすれば、如何に人口問題に惱んでゐるといつても喜ぶべき現象ではない。なぜなれば國家はその社會を構成する人間が多ければ多い程、國際的民族的に離る力強いものとなるからである。各個人は自己の保存と幸福をこひねがふためこの制限方法に出でやうとするのであるが、かくて國家の立場としての考へとは全く

相馳背する

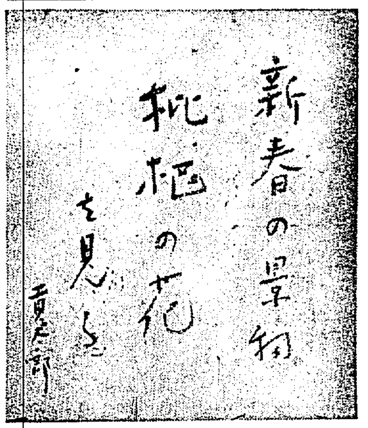
結果を生むに至る。國家が人口の異常なる增加に惱みながらも、一面においてひそかに行はれんとする產兒制限に神經を痛らされるゆえんであつて甚だ矛盾せることながら等しく各國が惱みを同じうするところである。然しながら產兒制限問題は一向の理論として存立すべき價値あるものであるが、これが効用についてはまだ多くの議論の余地もあり事實疑はしい點がないでもない。殖民地を有せず、人口の稠密なる點では世界一といはれる我日本の如き國にあつて、然も生活必需品は日々騰貴して

經濟的脅威

を受けること甚しい現狀より、我國のこの年々膨脹してやまない人口を斯くの如き制限方法に訴へて緩和するといふことは、一應道理には思はれながらも實は全くその反對で、我國現今の日本においては一般に浸潤する性質を有しをらぬやうに見るのである。普通に常識ある人にして今日いはれて居るところの產兒制限とか避姙とかいふ問題あるを知らぬ人はあるまい。それにも拘らず未だにこれを現實の問題とはせずに甚だ冷淡なる態度を持してゐる有樣である。多產者の多い無產階級に皆無に近く共鳴者が少く、子供があつてもそれ程困らぬ智識階級にこの

共鳴者の多

いといふことは皮肉である。この意味よりして將來における我國の產兒制限問題は一層誘因なるなやみとなつて外面的にはいよ〳〵必要なるものが加はるであらうが、然しながら實際にはそれ程分布するものとは考へられない。たゞ今後益々一部の人によつて濫用せられ、古來からの美しい性的道德が破壞されざらんことを、私として世の一般の識者と共に憂ふる者である（完）



新春の果物枇杷の花を見る……田中貢太郎氏筆

JODK（京城放送局）

一月四日（水）

▲午前九、四〇　定期放送
▲午後〇、三〇　おさらひの時間　南山校訓導　申榮周吉
▲午後一、三〇　定期放送
▲午後六、〇〇　總督府の時間　方定換　李英毅
▲西洋雜歌　細井魚紋
▲ニュース其他
▲文藝講演「秋の味ひ方」
▲謠曲琵琶合奏『鉢の木』　秋井清水　高木道水　柴田可水

此曲は謠曲鉢の木から採つたものらしい。常世はもとより皆の人物で、北條時頼の旅を賞揚するため、後人の作り上げた一挿話である。時頼は北條五代の執權、在職中世皆その賢明と公平に服したが、康長八年十一月廿三日、年僅かに三十にして早く佛門に入り最明寺山内最明寺に住した。弘長元年の秋より三年の間は六十餘州を行脚し、各國地頭の政治を監察し、後之れが曲直を糺したと傳へらる、弘長三年十一月廿二日三十七歳を以て歿した

▲出演の秋井清水氏は朝鮮に於ける心流の宗家で滔水會を揚げて努力をしておられます。高木道水、柴田可水兩氏共高弟で斯道に精進を重ねて居られます

▲浪花節『秋木の志士』　桃中軒雲右衛門入道

▲小唄『十二月』　唄　山崎照子　三味線　財本平枝

この唄は文化の四五年頃江戸市中で流行したもので、正月を以て初り十二ヶ月で江戸の行事を織り込んだものです

歌詞

一夜明ければ、門松禮者に、鳥追、萬歳、道中雙六お賀々々、お年玉掲げたり、はないち羽根突大きなお得をで、姉さん羽根突大きなお得を振り廻すコリヤ〳〵（一月）かに、稻荷祭で氏子中、どん〳〵かつ狐は滿腹、繪馬や絵やと、神樂の馬鹿囃し（二月）花の鋤生は向島、酒機嫌で土手をは三圍、お茶屋の姉さん、一寸なれば、屋路は櫻、花魁眺めて、格子で自挾むコリヤ〳〵（三月）四月八日は、お釋迦の誕生、いかに宗旨を揉めるとて、お酒れ呑まずに甘茶を呑んで、べん〳〵草花、取れで裸體で踊り出すコリヤ〳〵（四月）幟や粽に柏餅、菖蒲刀や、神功皇后、猿踊、睨める鬼取が怖がる、大きな鯉を上げコリヤ〳〵（五月）日吉山王の祭禮、どん〳〵かつかに囃いて、手古舞に地走り屋臺、すゞてんてれすと蛇の目の傘、お祭番附コリヤ〳〵（六月）色紙上げます七夕祭。軒の燈籠やぼん〳〵踊、鰻付きあ舌拔く十六日には、地獄で鬼めが、お釜の蓋明け、閻魔の奕卸コリヤ〳〵（七月）見て眺めまする、十五夜お月を見るから浮かれる、搗き拔きの團子に、薄に芋栗、枝柿枝豆大きな蛤、皆さん好きだんべコリヤ〳〵（八月）芝の神明祭、閏月御祭禮、お茶屋の姉さん、どんから吹矢、芝居に顔見、山馬に竹澤、千木筥飴菓子、名代の飴菓子、名代の甘酒、生姜の土產物コリヤ〳〵（九月）惠比須講、店中で、旦那に御紳かれて、番頭に小判、おさんも浮かれて、滑つてころんで、向腰鍋いだコリヤ〳〵（十月）男衆で酉の市、向鉢巻、熊手を擔いで、熊手の附物、おかめに寶船、頭は黒毛に、けん〳〵の生へたふ〳〵から玉コリヤ〳〵（十一月）暮の七八日、淺草市で、注連飾か餅、伊勢海老、橙、弓、破魔弓に羽子羽子板、金の餡いたる大きな松葉コリヤ〳〵（十二月）

山崎照子さんと云へば富地端唄のお師匠さんの總師、ツバメオリエントに吹き込んである山村照子さんと聖も際值もそつくりの人

一月五日（木曜日）

▲午後〇、三〇　新年宴曲　おさらひの時間　野澤大郎
▲午後一、三〇（京綱）天氣豫報
▲午後二、〇〇　ニュース
▲六、〇〇　童話『龍太郎の話』　佐田至弘
趣味講座『道の神話』　遞信局編輯　今村鞆
落語『いなご志賀』　大阪　國本文枝
浪花節『秋木の士』（下）　桃中軒雲右衛門入道
ラジオフレイ『鮫浦弁天』　ヌゲミ會員
ニュース其他
短篇箏琴獨奏合奏　趙東奭
京城帝大雅樂　朝鮮李王職
時報、翌日プロ發表

謹賀新年

株式會社　中村農林部　京城府南山町二丁目　電話本局一九六〇番

山口太兵衛

朝鮮天然氷株式會社　京城府三村洞一九五　電話龍山三七八番

灘屋酒店　京城漢江通一三　電話龍山八〇〇番二八番

開正舍工作所　京城府本町　丁目　電本一二三九番

黑川精肉店　京城府本町二丁目　電話本局九六四番

煙草商　天原虎彦　京城府元町四丁目一五　電話龍山四〇七番

石炭商　合資會社　寶榮商店　京城府漢江通十三　電話龍山一〇七番

製藥本舗　井上宜壽堂　京城府元町二丁目一　電話龍山六四五番　八八〇番

三角地西友會　廉賣場

京城府本町二丁目十九番地　板硝子專業　三田政治郎商店　電話本局一四〇番

刀劍商　吉岡刀劍店　京城府古市町四三　電話本局三五六四番

龍山質屋組合

京城府公平洞八十七番地　大昌貿易株式會社　電話光化門　長一二七二番　一四二七番　六七二〇番　振替京城一〇八二番

京城府樂園洞二百四十番地　傷寒・中風・脫疾・失明・淋病專科　普濟醫院　院長　金永勛　電光二〇四九

谷野滿藏　京城府太平通二丁目　電話本局一八二一番

日本セメント株式會社　京城出張所　京城府南大門通五丁目

京城女髮結組合　取締　葛下ツル　副取締　山本ツマ　川崎シマ　評議員　鈴木クニ　小川ゲン　佐藤ハツ　松本スヱ　杉山モン　佐中カツ　川島サク　佐々木ブン

東亞牧場　京城府蓬萊町　電話本局五二番

伊豆天壽堂　京城府本町三丁目　鼈甲羽子板商　電話本局一三八八番

山本自動車商會　京城府黃金町一丁目　ナシシユ號朝鮮一手特約店　電話本二三五番

京城證券株式會社　取締役社長　南源兵衛

京釜線烏致院本町　丸屋旅館　丸屋興行部　電話百〇二番

京釜線烏致院　丸岡工匠　土木建築請負業

京釜線烏致院　烏致院穀物協會員一同

京釜線烏致院　米穀商　三中井又吉商店

京釜線烏致院　府濟醫院　李眞雨

京釜線烏致院　重松旅館　電話一九番

京釜線烏致院　明治旅館　電話三三番

京釜線烏致院　朝鮮興農園　本店　電話二十番

京釜線烏致院面職員　片山限太　電話三一番

三千浦　孫仁守

三千浦港埠頭　海產物仲買商　下堀口藤太　電話長拾四番　振替口座釜山五八五番　電略（ホリ）又ハ（ト）

三千浦　花月旅館　電話拾參番

朝鮮三千浦港　海產物仲買商　鋼ノ花製造　島田芳太郎

三千浦港　岸本商店　電話拾七番

三千浦港　沖野屋旅館　電話參拾武番

慶南泗川郡　三千浦面事務所　電話拾八番

慶南泗川郡　三千浦公立普通學校職員一同

釜山府大倉町三　朝鮮勸農商會　電話長九六二番　振替釜山九六二番

釜山府消防組頭　小宮萬次郎

東萊温泉場　靜乃家　電話一三番

京城興業社長　青木喜之市

川瀨新三郎

梁山郡梁川里　津谷

瑞興郡　岡崎貫一

米穀・肥料・雜貨　京義線新幕驛前　小池重一商店

瑞興郡　興永公立普通學校　秋澤與吉

京義線　石川辨吉

瑞興郡新幕面　面事務所職員一同

瑞興新幕　和田良一

京義線新幕　丹生利

京義線新幕郵便所長　下川喜三郎

京義線南川驛前　申元熙

黃海道穀物檢査所南川支所　石川藤四郎

南川　谷村杢治郎

貿易商　朝倉屋　電話一九番

大田本町一　弘鑑社　木上恒藏

仁川　吉田秀次郎

朝日米酒醸造　大田本町二　中村捨三商店　電話百〇番

朝の花　ますや酒店　木本增藏

大田刑務所長　則近喜代熊

大田春日町　辯護士　中島潔　電話二二六番

大田春日町　氷・牛肉　畑牛肉店　電話二二九番

大田本町一丁目　大田ゴム商會　兒玉辰之助　電話二〇四番

大田春日町　北村寫眞館　北村一眞　電話三一八番

大田本町一丁目　運動具・文具・和洋紙　本司商店　電話二六一番

大田　貸座敷組合

大田榮町一丁目　越智商店

古田商店　京釜線大田春日町

大田　内科・外科　林病院　林辰雄

大田專賣支局出張所長　高宗喜勝

戊辰新年紙上名刺交換會

松本誠

[illegible]

[illegible]

大正 富次郎 三千浦

羅南 [illegible]

新義州(?) [illegible] 一同

平康面 面長 金萬琦 會計員 閔丙直

[illegible]

[illegible]

近藤雄郎(?)

今泉茂松

咸北羅南 朴相駿

[illegible]

山之內(?)

苗山 許斐光三郎

[illegible]

新田(?)

[illegible]

[illegible]

吉木善介

古川正治(?)

廣瀬博(?)

鎮海 松尾重信

鎮海 織田(?)

野村紀一

黄海道延安 入江嘉平

樋口眞一

[illegible]

堀内滿輔(?)

福溪鐵道(?) 丹羽藤之助

淺利三朗

山本厚(?)

[illegible]

平康郡守 李起達(?)

野口文一(?)

田中三雄

[illegible]

平康郵便所長 吉田幹一

加藤常美(?)

李[illegible]

江原道評議員 鐵原 貝沼猶藏

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

後藤一郎

山口[illegible]

[illegible]

木村盛之助

A HAPPY 1928 NEW YEAR

咸南端川營林署長 清水嘉三次

咸南端川邑内 端川酒造合資會社

咸南端川邑内 湯目亥五郎

咸南端川郡 端川面事務所 職員一同

咸南端川公立小學校長 天野規矩一

咸南端川邑内 御料理 小助樓

咸南端川邑内 御料理 松月

咸南端川邑内 御料理 壽樓

咸南北青郡 新昌面事務所 職員一同

咸南新昌港 山田吉駒

咸南新昌港 覺幸正次

咸南新浦港 公醫 伊東岱賢

咸南新浦漁業組合 職員一同

咸南新浦公立小學校長 和田兵馬

咸南洪原公立普通學校 職員一同

咸南洪原郵便所長 井上重武

咸南洪原邑内 洪原釀造所 李鱗善

咸南洪原公立普通學校長 荒井惣平
咸南洪原公立小學校長 馬場庸太郎

咸南新興郵便所長 小野敎明

咸興營林署

咸興繩叺販賣組合

咸興面協議會員 咸興學校組合議員 九貫政二

咸興消防組頭 小藤榮夫

咸興本町一丁目 中川鐵治商店

咸興大和町 米穀商 田中民治

咸南長津公立小學校 鶴田修

咸南長津郵便局長 山口實 外職員一同

咸南長津邑内 雜貨商 田原商店
雜貨商 松田商店

咸南長津邑内 綿布木綿雜貨商 ㊐順昌商店 李天培

咸南長津邑内 公醫 金昌漢

咸南長津郡南面
面長 梁淵植
面記 徐和俊
同 高舜河
同 韓用善
同 安文漢

咸南長津郡上南面
面長 趙秉元
會計員 李鳳煌
面記 金訖準
同 宋智賢
同 文三運

咸南長津郡新南面下碣隅里 司法代書人 金鎬弼

咸南長津郡新南面下碣隅里 道評議員 鄭南信

三協商會咸興支店 牧野政一 電話三二六番

咸興面協議會員 咸興學校組合議員 敷根角市

咸興宿屋業組合

咸興郵便局長 近藤正彦

咸鏡南道 穀物檢査所 職員一同

咸鏡南道 三水警察署職員一同

咸鏡南道 三水郡廳職員一同

咸鏡南道 惠山鎭營林署職員一同

咸南惠山鎭 橋本楠太郎

咸南惠山鎭 合資會社 今西組

咸鏡南道 甲山警察署職員一同

咸鏡南道 豐山警察署職員一同

咸南北青邑内 朴基孝

咸南新興郡松興里 工業 渡邊利一

咸南新興郡松興里 建築請負 無川貞吉

朝鮮水電株式會社 松興里診療所 岡元濟二 外所員一同

咸南咸興郡五老里 土木建築請負 谷本事務所

咸鏡南道 端川郡廳職員一同

咸鏡南道 端川警察署職員一同

咸南端川邑内 西原農園主 西原敏雄

西本組 本工場 出張所 久本鐵工所

咸南新興郡松興里 御料理 喜樂

咸南新興郡松興里 日置儀作

咸南新昌公立普通學校 職員一同

咸南新昌港 韓一醫院 公醫 韓秉萬

咸鏡南道 新昌漁業組合

咸南新昌港 朝鮮郵船株式會社代理店 崔光燮

咸南新浦公立普通學校長 佐々木一郎

咸南新浦港 倉澤罐詰工場 電略(ク又は(クラ)

咸南新浦港 ㊂森野商店

朝鮮煙草元賣捌株式會社 北青支店新浦出張所 佐藤忠治

咸鏡南道北青郡前津 池邊回漕店

咸鏡南道 定平郡廳 職員一同

咸南定平公立普通學校 職員一同

咸興公立各學校 職員一同

咸南長津郡廳 郡守 尹南喆 外 議員一同

咸南和原郡昌興里 利原鐵山 株式會社

咸鏡南道 新乫坡警察署 職員一同

咸鏡南道 好仁警察署 職員一同

帝國炭業株式會社 咸興支店

咸鏡南道北青郡
北青公立農業學校
北青公立尋常高等小學校
北青公立普通學校
北青女子公立普通學校

咸鏡南道 新興郡廳 職員一同

咸鏡南道 洪原郡廳 職員一同

咸南三水公立普通學校長 職田千尋

咸南三水郵便局長 島山英雄

咸南惠山鎭郵便局長 內田光重

咸鏡南道立惠山鎭醫院 職員一同

咸南惠山鎭 合資會社 大和屋商店 中村喜三

咸南惠山鎭 北鮮商事株式會社

咸南豐山邑內 各官廳指定旅館 寶來館

咸南豐山邑內 御料理 飛行機亭

咸南豐山郵便局長 大德助次郎

咸南豐山公立普通學校 職員一同

咸南北青郡 同居山面 同畜産同業組合 職員一同

咸鏡南道 北青郵便局 職員一同

咸鏡南道 北青警察署 職員一同

咸南咸興郡內湖
間組出張所
西松組出張所
西本組出張所
小寺組出張所
長門組出張所
多田工務所出張所

咸南甲山郡銅店 久原鑛業株式會社 甲山鑛山事務所

咸鏡南道廳 職員一同

咸南定平郡新上面 水利組合理事 竹內正枝

咸南新上公立普通學校 職員一同

咸南新興公立普通學校長 狩野虎雄

咸南長津邑内 長津館 中村榮治

咸興地方法院長津出張所 黑岩建鎌

咸南長津邑内 土木請負業 濱口新太郎

咸南北青邑内 共興株式會社

咸南道公立普通學校長 串間定市

咸鏡南道 惠山警察署 職員一同

咸鏡南道 甲山郡廳 職員一同

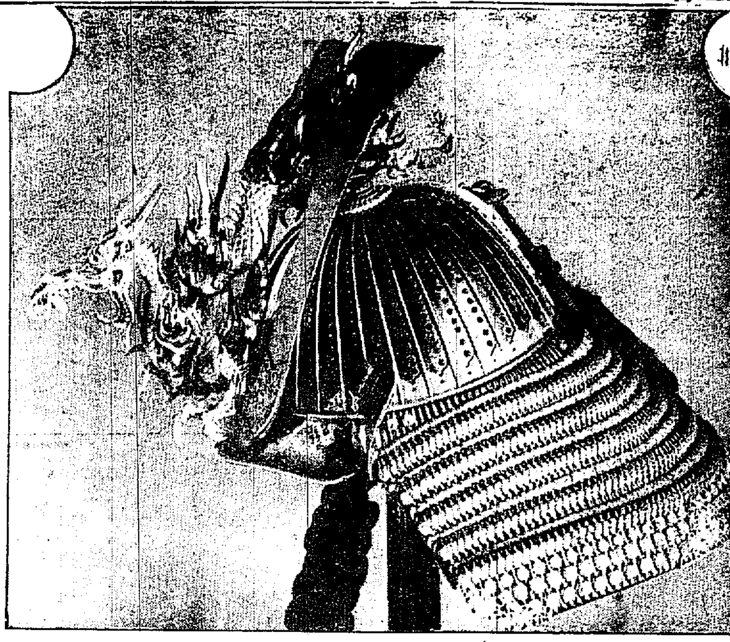
咸鏡南道 豐山郡廳 職員一同

咸鏡南道 豐山營林署 職員一同

咸南道立咸興醫院 職員一同

大興電氣株式會社 咸興支店長 宍倉六二

京城日報　其二


……德川家光公龍頭の兜

目ざすは何れぞ 晴れの國際舞臺

今夏アムステルダムで開催の國際オリムピツク大會

陸上競技界の大觀

昨年のわが國陸上競技界は上海の極東大會、明治神宮競技大會等の開催によつて異常の躍進を見せたが、あの幾多の競技會に目覺しい活躍をしたわが一流のアスリーツは果して何を目指してゐるか？それには今夏オランダのアムステルダムで開催される、第九回國際オリムピツク大會への遠征を見のがしてはならない。

これは單にわが國のみではない世界各國共通の傾向として國際オリムピツク大會の前には異常の緊張と進歩とを示して來るものである。從つて各國選手の現勢力より想像するに今夏の大會もまた激烈な爭覇戰となるに違ひない。從つて今ここに光榮あるアムステルダムの優勝者としていづれの國から如何なる選手が出現するかを（昨年來の記錄を參考として）豫想することもあながち無理ではあるまい。

百米　多士濟々の米國の牙城を陥れたのが一九二四年巴里のオリムピツクに於ける英國のアブラハム選手であつた。アブラハム選手は最早今夏の優勝は望まれまいと思ふ。それに引換へ米國の巨星は相變らず光つてゐる。アントワープ以來八年間を覇者として閉鎖したパドツク、マーチソン、ショルツ各選手が三度國際舞臺に出る事になるとすればたとへ敗れても世界の驚異であらねばならぬ。米國では新進ボラー選手が最も有望であるから獨逸の新進ケーニッヒ選手との對戰は恐らく興味の中心となるであらう。只幾分かケーニッヒの方がこの種目に於ては專門的に出るかも知れないが兎に角兩選手が對戰したならば十秒五分の二、三の記錄は出ることと思ふ。尚今回は米國に對して獨逸の猛烈が非常な不安を與へてゐる事で獨逸の大黒柱ホーベンシユーレン等の一擧を見るときはこの種目では英米の對抗戰となることであらう。此外に最近この實力より見て入賞（六等まで採點するとになつた）の見込ある選手としては南佛國和蘭のベルゲ選手、佛蘭西のムーロン（弟）選手、西班牙のテアード選手等であつてこれ等は孰れも十秒五分の三の記錄を作つてゐる。我國では相澤君を始め十一秒位の實力であるから入賞しやうとするには骨折である

二百米　米國のロツク選手が昨年廿一秒五の好記錄を作り、ボラー選手が廿一秒九の記錄を出した外ラツセル選手の廿一秒それにパドツク、ショルツ等の猛將も相變らず強いから何といつても二百米は米國のものである。これに割込むだけの力あるものはドイツのケーニッヒ以外には見當たらない。瑞典のペターソン、フランスのムーロン（弟）ドイツのシユーレル等も廿二秒以內の選手ではあるが決勝の六名に入選するかどうかが問題である

四百米　從來の歷史から云つても現在の實力から見ても英米獨の三ケ國は僅かに強い。英國ではグリフイス選手以下二三名、米國ではアルダーマン、ケネデイ、フィリツプ、バンス選手外數名、獨逸ではブッヒェネル選手以下三名は孰れも四十八秒臺の實力を持つてゐる。外の國で有名なのは瑞西のアムバッハ、和蘭のパウレン、芬蘭のオーストロトム、瑞典のエングダール選手等でこれ等は四十八秒臺の記錄を作つたことのある選手であるがアムバッハもエングダールも今は幾分衰へ氣味である。我國の選手の現在の實力は五十二秒內外では到底問題にならない。今度のオリムピツクでは四十七秒位にはなるかも知れぬ。

中距離

八百米　最近英米の一流選手を尻目にかけて如何に勝ちを以て記錄を破つてゐるのがフランスのセラ、マルタン選手である。千米を二分二十六秒八で走つて世界記錄を持つてゐる選手である。八百米では常に一分五十五秒から一分五十三秒までの間を走つて各種の競技會に優勝してゐる。フランスでは彼の優勝を信じてゐる有樣である。英國ではパリのオリムピツクに優勝したロー選手の衣鉢を繼ぐものによつてその榮冠を再びうるものと信じてゐるらしい。米國では今のところ特殊代表的の選手もないが一分五十五秒臺の選手は數名居るはずである。中にもブラウドロツク選手などは有望である。殊に……ドイツで二三米年ベルツアー選手といへば誰しら知らぬ者はなく、フインランドにおけるヌルミの如く彼の偉力は今夏のオリムピツク大會に遺憾なく發揮されるであらうと思はれる。ただ彼が二三年前に保持した一分五十二秒內外の好記錄が今夏の舞臺にだせるかどうかは問題である。ベルツアーの外にドイツではエンゲルハード、ベッヘル兩選手も一分五十三四秒では走れるから決勝における我が國選手の活躍は相當期待されてゐる。スイツルのヴイレンも強いが一分五十七秒內外であらう。パリーで英國のロー選手と接戰したスイツルのマルメン選手はもうそれほどでもなからうとおもはれる。日本の爺田行光君などは最近非常に強くなつたが一分五十八秒をきらなければ第一豫選通過の確實性はないであらう。

千五百米　米國が今度のオリムピツクに不參加を表明した結果非常に番狂はせをする向もあることと思ふ。ヌルミが巴里時代のあの意氣を以て出たならば他の追隨を許さぬであらうが昨今の模樣では最早引退してる樣である。目下盛んに活躍してゐる選手には佛蘭西のウイリアス選手、獨逸のボッヘル選手米國のコツクス選手、佛蘭西のセラ、マルタン選手等であつて孰れも三分五十五秒乃至七秒位であるからオリムピツクになると三分五十二三秒になるかも知れない。我國の土屋、北角、津田君等の實力を四分十秒とすれば豫選に入選する程度である。

長距離

五千米　―北歐の名選手ヌルミ、リトラ、ヴイデ諸選手が盛んに活躍した數年前に比すれば何となくさびしい。ヴイデとリトラ兩選手は今もやつてゐるが御大ヌルミが襲してどうなつてゐるか消息不明である。その外に新進もあるが皆十五分から十五分卅秒迄の實力である。中でもドイツのペトリ、コーン、デイクマン三選手は相當有望である。スエーデンのエクロフ、オーレンの兩選手、芬蘭のキヌネンも注意されてゐるフランスのギユーモー選手がアントワープの大會に優勝して八年後の今夏又出場する豫定で盛んに活躍しているのも感心である。彼の老巧さバラトン選手も歐洲中距離の活躍振から見てこの方面に活躍するものと豫想されてゐるが、結局はリトラ、ヴイデが出れば彼等宿將が前に世界の新鋭が相變らず屈服させられるであらう。我國でも永谷君はじめ十五分三十秒を確實に超れる樣になれば豫選は勿論決勝においても十番までに潜ぎつけることは不可能ではあるまい。

一萬米　巴里の大會でリトラ選手が三十分二十三秒二で優勝した時の韋駄天振が追憶される。ヌルミ、リトラ時代が偲ばれる。ヌルミ、リトラ、ヴイデ各選手の四年前の勇姿は再び見られるかどうか。見られるとしても往年の元氣が出るかどうか。それに今の選手は彼等の巨人の足許にもよりつきさうにも見へない。若しあれ程でなくとも三、分臺の成績が出るとすれば佛蘭西のバラトン選手位のものであらう。他の選手は三十二分內外の實力としか見られない。強いて擧げると獨逸のペトリ、芬蘭のマテライネン、ラスタ兩選手、瑞典のオーレン、ステンフェルド兩選手位のものであらう。日本から出れば大年君や永谷君等の實力を更に三十秒位詰めて三十二分にしなければ六等以內に入ることが確實であるとは云へない。

マラソン　―これは今のところ誰が勝つか見當がつかない。然し從來の歷史から見れば北歐、南歐諸國が強い。スエデン、イタリー、等ヨーロツパ諸國が強い。この競技は天候、道路等の影響を受けることが多いからレコードを以て實力を比較する事が出來ない。日本選手は道路を走つた經驗が乏しいから外國でやると第一にその點さに弱つてしまふ傾向がある。昨年秋の明治神宮競技大會で京釜の舗裝道路を二時間四十二分二十六秒で走つた高橋淸二君などが舗裝道路でみつちり練習すれば案外よい成績を收めることが出來るであらう。

フヰルド

走幅跳　レコードホールダーである米國の黒人選手ハッバードが相變らず強いから優勝は孰れ彼のものであらう。彼が若し普通のコンデイションで出場すれば七米七十以上は出ることと思ふ。彼が作つた七米九の世界記錄から見て若しコンデイションが良かつたら八米と云ふ驚異的記錄を示す初の選手であらうと一般に期待されてゐる。その外米國のレゼンダー（七米六五）ゴールデイン（七米六七）選手の消息は不明であるが出場すれば必ず相當の成績を見られるであらう。この競技では何と云つても米國選手でなければ昨年の學生競技會に現れた選手だけでもベーツ、マツヤス、ミークス等は七米四十以上の實力を持つてゐる。歐洲では巴里のケルヘルマシ、ドベルマン兩選手、瑞典のハルベリイ選手等の新鋭がある。日本の織田、南部兩君は七米二十位の實力はあるから三十以上出る可能性は充分あると思ふ。入賞はどうかと思ふが十番以內にはなれるだらうと思ふ。

走高跳　今度から競技規則が一部改正されてロールオーヴァーのフオームを採用する選手の恐怖時代が來た譯である。そのため余程コンデイションがよくなければ二米以上の記錄は出ないことゝ思ふ。米國から出る選手は多くの中から誰が出るか見當がつかないが一米九五以上はとべる選手に違ひない。そのフオームがロールオーヴァーである場合は規則の上で多少問題にされることもおこるかも知れない。多少苦しい戰鬪を豫想しなければなるまい。そうなるとフランスのルーダン選手の活躍八年の中姿があるといふもので彼の近頃は一米九五は仲々有望になつて來る譯である。ドイツのコプケ、芬蘭のヴアルスタッド選手も一米九〇以上の實力を以て出場するであらう。そうなるとわが織田、南部、鞍達等の奮鬪によつて一米八五が確實となれば十番以內の可能性は充分あると思ふ。

三段跳　我選手の最も有望視されてゐる種目で織田君が昨年作つた十五米三五五內外を確實に保持する事が出來れば一二三等以內に入れるかも知れない。孰れにしても織田君だけは六等迄に入賞する事は確實であらう。濠洲の勇ウインターのその後の消息は知らないが彼が出れば、アルゼンチンのブルネット選手と共に十五米以上の成績は確實に保てやう。從來の名將芬蘭のツーロスも同國選手ライノと共に十五米內外は出してゐるからこれも決して見逃すことは出來ない。巴里の大會の時ツーロスやブルネット選手等は或は踏切でファウルし或は尻餅をついて快心の好成績が出なかつた關係もあり、今回若し跳躍のコンデイションが良かつたら恐らく十六米の壁を開くことが出來やう。

棒高跳　諸國の名跳躍者チヤールス、ホツフ選手が既に引退しかけてゐる老將米國のカール選手がメキメキとその實力を上げて今では全米のチヤムピオンたるのみならず世界のチヤムピオンになつてゐる。恐らく彼に故障のない限りその優勝は彼に收められるであらう。カール選手に次ではパリーで優勝したバーネス選手やエドモンド選手がゐて四米以上は確實である。カール選手は四米二三十の成績を示すであらう。この競技ではわが中澤君の活躍が期待されてゐる。中澤君は昨秋の米國遠征の選手を相手にして四米までこぎつける迄が出來れば米國以外の選手には大して恐るべき者を見出さぬ狀態に置かれてゐる。その他ヨーロツパ諸國では三米七八十位の選手が多い。

砲丸投　―從來の歷史に徵しても米、芬、瑞典、獨の活躍は想像するに難くない。その外に最近佛蘭西と獨逸が進んで來たのも面白い。今のところ優勝候補として確實なものは見當らないが、米國のハウザー、ハートランフト、ヒル、ガーケン、アデルマン、ホフマン、フオースター、ラムバート諸選手の中から選手が出る。その中誰かは十五米以上投げるであらう。芬蘭では新進ヴアルスタッド、カルピネン兩選手がゐる。瑞典の宿將ヤーソンは最早十五米を越へる程になつた。獨逸ではクルツペルブレツヘンマツヘル等が十四五米內外、佛蘭西では老將パオリと新進デユール選手が強くなり、デユール選手は大會には十五米に達するだらうとさへ評判されてゐる。日本では滿州の沖田君が十三米を餘り出ないからこの種目では大きな期待はかけられない。

圓盤投　―米國は依然として強い。パリーで優勝したハウザー選手が出れば優勝は確實である。ハートランフト選手もホフマン選手も四十六米內外であるから米國から出る四人は大體その位の實力と見て差支ない。外には、ドイツ、フランス、芬蘭、スヰーデン等から相當強いのが出るだらうが大體は四十四五米である。オリムピツクに集まる各國の選手は大體四十二米以上の確實な實力として四十二米以上の記錄の四十米以上であるから我國の選手の入賞の望みはない。

槍投　―常勝々軍芬蘭のミイラ選手が幾分下火になつてゐるから勝敗は混沌たる有樣である。瑞典のリンドストロムがどれだけ出るかは問題であるが芬蘭の新進ペンチラ（最近六十三米四五を投ぐ）等に對抗することは明らかである。獨逸ではシユロカツト、ホフマイステル、モレス等の諸選手が六十米內外の實力を以て參加するであらう。米國も益々強くなる方でハインス（最近六十二米六八八を投ぐ）、シプチイ、ムーア等は孰れも六十米以上の手腕を保つてゐる。佛蘭西のデグラドも六十米を突破するに至つた。以上の選手が接戰する事となつたならば六十六米以上の記錄は生れるであらう。我國では住吉君が五十七米內外の實力を示し國際的になつたから國技に出場しても耻かしくはないが六十米迄に進まないと入賞は覺束ない。

鐵槌投　米國のヲーテルが三十三米內外は相變らず强ければ、ヲーテルが出なければ、今回の優勝はスキデンのソールド、リンド兩選手の手に歸するかも知れない。米國における他の選手は何れも五十米內外である。日本でも最近明大の松尾君が神田君と共に四十四五米の實力を示すに至つたから決してはつかしいことはないがこの程度ではまだ入賞は望まれない。

百十米ハードル　―ハードリングの技巧からいへば米國選手が有望である。米國のウエルス、クリヤー、ニコルス、ウエストウエバー選手等は十四秒乃至十五秒の實力を持つてゐるからいづれ優勝者はこの中から出ることであらう。その他にはドイツのトロスバッハ、スタインハルト兩選手が十五秒から十五秒二位の實力を有し、フランスのセンペや瑞典のペターソン等も大體その位のものである。その他カナダや南亞聯邦からも相當の選手が出ると思はれるが、詳しい消息に接してゐないのは殘念だ。日本の三木君は身體もよいし十五秒にこぎつければ準勝には可能性が充分あると思ふ。

四百米ハードル　米國のテイラー選手の陣に五十二秒臺の選手は餘り見受けないが平均して各國とも强くなつてゐる。米國から出て來ると思はれるが、獨逸では中距離競走の勇ペルツアーがこの種目に於て五十四秒臺の實力を示してゐる外ゲルネル選手も有望である。其他の國から出る選手も五十四五秒內外も有望である。我國から出るならば少くとも今の實力五十七秒を五十六秒には切上げねばなるまい。

十種競技　―少くとも七千點以上採らなければ入賞は覺束ない。最近芬蘭のイルヨラは八〇一九、九九點を出したといふから恐らく今度の大會には八千點といふ線を越くに至るであらう。米國のソープ選手の七千七百五十一點余、オスボーン選手の七千七百十余點、ドイツのワイス選手の七千三百五十五點余等がある以上三等までになるには七千五百點を確實に取らなければなるまい。我國の出選手は七千點は大丈夫であらうからこれに出場すれば入賞するかも知れない。以上の概評は主として歐米各國の昨年度の形勢と既往の成績とを標準として豫想したのであるから、アフリカ、南アメリカその他の植民地の番狂的選手の出現を見れば番狂はせも出る點である。何しろ今秋の各國豫選會を經なければ確實な豫想は出來ないが大體において大した間違ひはなからうと想像される。近年著しく進歩した我國陸上競技界から數名なりとも世界の舞臺に快心の妙技を見せて呉る選手を得たいと衷心に念じてゐる次第である。（完）

新年文藝　情歌　本社編輯局撰

御代の春ほど大きく高くついてあげませう羽子の板　京城　石田和夫

千代も變らぬめをとの松のなかでつきませう羽子の板　京城　堀部柳風

なんぼはねてもまたすぐ返る心くまんせ羽子の板　京城　黒川茂馬

羽子板を抱いた袖からさき指見せて今年もつとに～と笑む　金堤　入部千朗

娘七八ツ羽子つく庭の若菜が唄に出る　京城　武藏坊

羽子は鳴るく～振り袖姿春をなぶつた風が吹く　北山　北市さたこ

三つ四つをつく羽子床しや一つ八つ突きや揺れて花が散る　京城　仙郎

いつか仰山に思ひを寄せてそつと羽子板抱く舞妓　京城　堀部柳風

浴む大空つく羽子板の音が撓か　京城　黒川茂馬

日本晴れ神戸七條挑いた羽子板掛ひの似顔絵ひあゝ棕に見りや笑ふ　神戸　七條勝雄

[illegible]したお方を追はへて隠し羽子に含めた胸のうち　京城　即興詩人

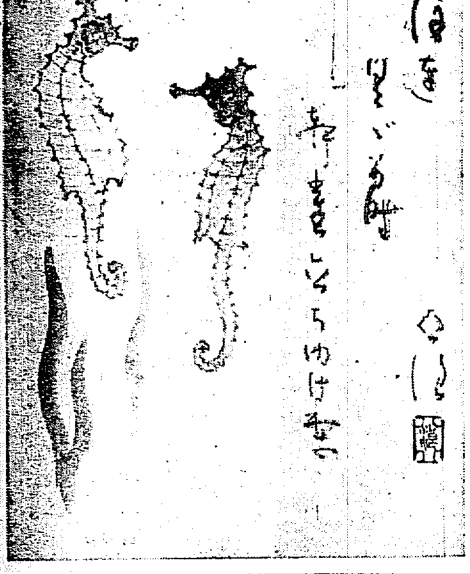
ゆらり振袖それ羽子追へば湖にこぼれる緋鯉の子が　京城　宮津岳磯

羽根をついてる子供の中に姉も來てつく板の音　京城　高野菅灯

振りの袂に羽子板抱いて春を締めた上な初姿　京城　小森水陰

粋な羽子板揃ひの小袖風にむき合ふ姉妹　龍岩浦　鶴田荷塵

羽根の打ち樣で流れ矢を見ればハツト耻かし殿の肩


注連くゞる時軒雀立ちゆけり……臼田亞浪氏筆

謹賀新年

咸南新興郡松興里　松興旅館

咸南興山面　公立普通學校　公立小學校　職員一同

咸興邑長　藤田鑛作

咸興運送組合

朝鮮運送株式會社咸興支店長　石谷寅三

咸鏡南道評議員　咸興面協議會員　咸興學校組合管理者　井上通

咸興本町通　蔡屋商店咸興支店　松尾昇治　電話一〇一番

咸興大和町　北鮮運送株式會社咸興支店　電話四三五番　(成)運送部

咸南咸興郡　井上新　朴鼎銈　神野孝　相原慶三夫　姫野孫太郎　加藤奥三郎

咸興本町　金光正市

咸鏡南道　新興郡職員一同

咸南豐山邑內　各官廳御指定旅館　豐山館

咸、咸興郡內湖　富田組

咸南西湖津　竹原本店　咸南 電話八番　竹原支店

咸南新興郡　松興里齒科醫院

咸鏡南道　甲山公立普通學校　職員一同

咸南左老郵便所長　山本正雄

咸南長津公立普通學校　職員一同

咸南端川公立普通學校　職員一同

咸南興山面　內地人宿屋同業組合

咸鏡南道三水郡　三水釀酒株式會社

咸興郡廳　職員一同

新興鐵道　咸南自動車商會

朝鮮咸鏡　出張所長　神谷三郎

朝鮮水電松興里現場係　富田商會　柳下喜一郎

咸南新興　役所長　古河茂一郎

咸南定平公立小學校長　中村朝七

咸南新興郡學校組合管理者　小柳又五郎

咸南新昌公立小學校長　若林宮一

咸南新昌　海産物商　李承燮

咸南新昌　全明洙回漕店

咸南端川邑內　香川旅館

咸南端川郵便所　中川良治

咸南端川邑內　豐住又喜

咸南新興郡松興里　食料雜貨商　(木)支店高久

咸南新興郡松興里　食料雜貨商　岩本伊八商店

咸興地方法院　甲山出張所

咸鏡南道甲山郡廳　金萬熙

咸南甲山郡　職員一同

咸鏡南道甲山郡　金喜聊

咸興地方法院　豐山出張所

咸南豐山公立普通學校長　坂梨熊象

咸南新乫坡公立普通學校長　松井岩之進

咸南新乫坡公立小學校長　田原琢磨

咸南新興郡松興里　武藏屋旅館

咸南新興郡松興里　森熊次

咸南新興郡松興里　劉學鳳

咸南新興郡松興里　米穀食料雜貨　丸金商店　金敬淳

咸南新興郡松興里　雜貨　下司商店

咸南新興郡松興里　森本商店

咸興　金杜鳳

咸興土木建築工友會

惠山鎭料理屋組合（いろは順）　泉屋　千歳樓　大阪屋　音羽樓　鶴川亭　花月樓　惠比須　一榮亭　あやめ　山海樓　明月樓　廣島屋

咸興材料商同業組合　德本商店　松下商會　丸二商會　文化商會　秋山商店　森永金物店　大二商會

松　木村庄八畫伯筆

美術界の新運動（下）

村山知義

フランスの現在

フランスはどうなつたか？・フランスは戰ひには勝つたが、經濟的には打擊を受け、國運が衰頽した。美術家達はたゞ目前の享樂を追ひ一時は立體派のやうな運動も起つたが、最近では、ごく卑俗な、甘美な、享樂的な繪がもてはやされてゐる。十五、六世紀に、窮屈なキリスト教道德から解放された奔放な藝術運動が起こつたことがある。これが、ラフアエルやミケランジエロなどのルネツサンス時代であるが、現在のフランスでは、この時代の形式、甘美な色彩の皮をかぶせた新古典派といふ一派が盛んになつてゐる。

ロシアのうごき

ロシアでは大革命の際、一時、目的は違ふが、鬪爭的、努力的な點の相似のため、イタリーの未來派、形式が輸入されたが、建設の時代に這入ると、一方には新しいリアリズム一方には構成派が並び行はれた。

ロシアの社會組織が古い社會組織に訣れをつげたと同じやうに、構成派は古い一切の美學や科學的な美術に訣れをつげて、實際の生活に役立つ藝術を提唱した。實際派ともいふ。この派の運動も美術運動といふことは出來ない。何となればこの派は美術を否定して、建築、都市構成へと向つて行つたからである。

日本と東洋畫

日本ではどうであつたか？日本も大戰のたゞ醉で小成金となつた。歐洲の隔たりが大きくなつたそこへ關東地方の大震災で、日本の新しい美術運動の實際上の中心地である東京は經濟的に大打擊を受けた。そこで歐洲のあらゆる新しい美術運動が一時にあわただしく輸入されたが、これ等の借物は又あわたゞしくほろびて、美術家達は迷ひさはりのないフランスの卑俗な享樂的美術の模倣を事とするやうになつた。一方東洋畫の傳統を多分に持つた一派も行はれてゐる。

美術運動の概念

さてこゝまで最近の世界における美術上のいろ／＼の運動の極めて簡單な概念を敍へた。

所でこれ等の美術はいづれも資產階級、即ちブルヂョア階級の美術であつて、新興の無產階級の美術ではない、無產階級はまたそれ自身の美術を持つに至らなかつた將來の社會を建設する歷史的使命を荷つてゐる唯一の階級である無產階級は、その使命を果すための鬪爭を刻々に發展させ、その運動の組織に應じて、今や藝術運動もまた一環としての役目を勤めるために發生して來た。

薄弱な藝術運動

いままでとても無產階級的な藝術がまつたくなかつたといふのではない。しかしそれは政治運動としつかり結びついてゐなかつたために、たゞ無意識的な、部分的な反抗の表現とか、絶叫とかしかでなかつた。從つてその效果も的はづれであり、ごく弱いものであつた。

ブルジョア階級の藝術運動は運動といひ條、何もはつきりした組織を持つての運動ではなく、一種の流行ともいふべきものに過ぎなかつた。いままでの無產階級的藝術運動も、孤立した個人によるか、個人的寄り集まつた仲間によつて行はれてゐるに過ぎなかつた。これでは眞に目的に役立つ藝術運動といひ難い。

明確な組織を持ち、常にその時その時の政治鬪爭の段階と適應して運動して行かなくてはならない美術運動もかういふ藝術運動の一部分である。

美術運動の形

さて、かういふ美術運動は次ぎのやうな種々な形で運動する。

まづ個々の點によつて運動する。それからまたかういふ個々の點を統括的に團結した團體によつて、または、統一的に組織した團體によつて運動する。

更にかういふ美術運動に加へられる壓迫に對して戰ふ。

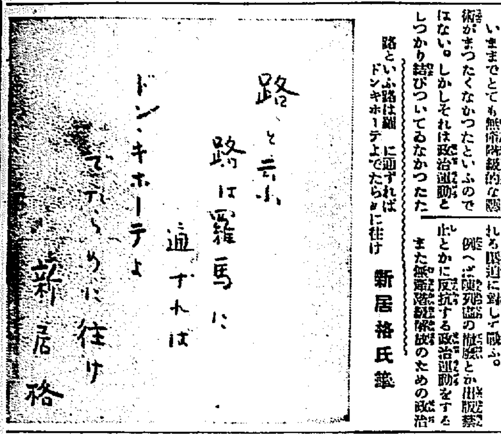
例へば展覽會の檢閱とか出版禁止とかに反抗する政治運動をする。

また無產階級解放のための政治運動に、美術と何の關係もなく加はつて運動する。

ではかういふ美術運動をする際はどういふ形式を持つだらうかといふことが次ぎの問題になる。

それは無論、弱くいぢけた古臭い形式であつてはならない。享樂的な感じをそそる形式であつてはならない。いやに複雜な、專門的な、趣味的なものであつてはならない。

それは強くて、明瞭で、簡潔で、潑溂として、勇ましい形式でなければならないのである。



路といふ路は羅馬に通ずれば　ドンキホーテよでたらめに往け　新居格氏筆

新年文藝　童謠　本社編輯局撰

京城櫻井小學校三年生　宮崎　昇

お芝居

兒童大會の　お芝居に
出て來た侍　おかしいな
網の上下　木の刀
坊主頭で　ゐばつてる

◇鎭南浦小學校三年生　雉波　淑子

はつ日

まつかいまつかい
はつ日ので
おとそきげんの
はつ日ので
おほでをふりふり
はつ日ので
いばつてでてきた
はつ日ので
にこにこきげん
おめでたう

◇山梨縣東八代郡錦村駒止　渡邊　保男（七歳）

ユキダルマ

ダルマダルマユキダルマ
マンマモタベズベベモキズ
ヨルヒルモンバンシテイタガ
ダンダンヤセテキエマシタ

◇大田第二普通學校五年生　金　永秀

鐵砲の音

田圃の中を歩いたら
大きな音がなりました
私がびつくりしましたら
音はきこえなくなりました
向ふの山をながめたら
きじが二三羽飛びました

◇京城東四軒町四八　四年生　大原　利貞

タツノ年

タツノ年來テ
ヤミアケテ
タツノ年來テ
日ガ上ル
天マデ上レ
タツノ年
蛇ニナツタラ
下チコイ

◇全南光陽普通學校五年生　鄭　玉岩

田舍の冬

はるかに見える山里に
淋しくくらす家一つ
後をめぐり川流れ
前にくる／＼水車
枯野をカラ、吹き渡る
風は寒いよ冬空だ

◇京城日出小學校五年生　河野　法

こすもす

お庭のこすもす
ゆうらゆら
とんぼがとまつて
ゆうらゆら
とんぼといつしよに
ゆうらゆら

◇京城三坂小學校四年生　橋本　尚道

冬

さーむい風が吹くたびに
お山の木の葉はブル／＼と
體をふるはし泣きまする
いやだ／＼といふのかしら
寒い風が吹くたびに
み空のたこはブル／＼と
大きな聲でうなります
うれし／＼といふのかしら
寒い風が吹くたびに
私のお手々はブル／＼と
冷たくなつてふるえます
さむい／＼といふのです

◇京城第一高女一年生　津村　道子

お花

サイタ／＼きれいなお花
あさがほ　ひまわり
はうせんくわ
ゆうがほ　やぐるま
つきみそう
まつばぼたんにひやくにちそう
なでしこ　きゝやうに
ふじばかま

◇慶山尋常小學校四年生　伊藤スミ子

ベソかき太郎

ベソかき太郎が
ベソかいた
今日も先生に
叱られた
何をいたづら
したのだろ
廊下の隅で
ベソかいた

◇新義州老松町六の一　姜　永旼

どん栗

一、北風吹いた
うんと吹いた
どん栗跳んで
里へ來た
二、どん栗コロコロ、
お山ぢや寒い
里までそろつて
引越した

◇慶北高靈小學校四年生　太田　三郎

霧

霧、早い
ランニングの選手
進めど進めど
追ひつかない
太陽が迫へば
赤恥かいて
逃げちやつた

◇釜山第四小學校五年生　町尾　健一

町の灯

私がお使ひしてすんで
町から歸る頃にふと
ともつた街の明るい灯
街の明るい灯を見れば
村へ歸つて行きたくない
村は寂しいランプの灯

海坊主お百（うみばうずおひゃく）

【五十一】　丘　浪之助　石井滴水畫

亙『左樣でございますか、痛みが去れば結構でございます、私は途中道寄りがございましたのでお先へ參りましたが、こゝで落合ふといふのも不思議な御緣でございます。旦那樣はこれから何方へお越しになりますので……』武『拙者は甲州の身延山へ參詣する者だ。』亙『へえ、私も身延へゆくのでございます。それぢやア御一緒に參りたいものでございます』武『むゝ旅は道連と申すから、一人でゆくよりも連のあつた方がよろしい。町人、殊によつたら明日一緒にゆかう』亙『何うか、さういふ事にお願ひ申したう存じます。』亙吉が見ると年の頃は三十近い、色の淺黑く、口元の締つた立派な武士、風呂からあがつて來るとお膳が出る、武士は酒を飲まないと見えて、直ぐ御飯をたべて仕舞ひました。亙吉は酒がすきだし、又飲まなければ眠る事が出來ません、尚ほ銚子を取寄せて頻に酒を飲んで居る武『女中、床をしいて貰ひたい』亙『旦那樣、もうお寢みでございますか』武『その方は飲んで居るがいゝ、拙者は先に寢るから』亙『旦那、どうでせう、もう少し起きて居て頂く事は出來ますまいか、どうもさびしくつて仕方がない』武『それはいかん、拙者は疲れて居るから寢る、其方はそこでゆつくり飲んで居るがいゝ』亙『左樣でございますか、それぢやアおやすみなすつて、眼をあけて居ておくんなさい！』すると又ボク／＼、亙『ア、眠た、また木魚を叩いて居やアがる』武士は枕についたかと思ふと、よい心持ちですや／＼寢て仕舞ひました。亙『おや／＼眼を瞑いて居て呉れと頼んだのに、疲れてゐると見えてもう寢込んで仕舞つた、どうも困つたなア』ペタ／＼といふ廊下を通る足音、女中が來たらしいから、亙『ア、よい塩梅だ』と思つて居ると、女『御免下さいまし』亙『おい姐さん、燗を熱くして持つて來てくんな』女『はい御酒はたゞ今持つて參ります、旦那樣は何でございますか、あの亙吉さんとおつしやいますか』亙『むゝ、亙吉といふんだが……』女『深川櫓下にお住まひなすつて居らつしやるので……』亙『さうだ』女『お連樣はございますか』亙『連なんてはありやしない、一人旅だ、それは窮屈でございますがたゞ今御婦人が一人入らつしやいました、何か旦那の知合ひのお方でございます、大變途中で難儀されて、遲くなつたとおつしやいまして、こつちに亙吉といふ人が來て居るから、一緒に泊めて貰ひたいとおつしやいます、お連れ申しても宜しうございますか、亙『おい／＼じやうだんぢやアねえ、目の惡い女……そんな連はありやしない』女『それでもお連だとおつしやいました』亙『えツ！』亙吉が顫へました、さア大變だ、畜生女、やつて來やアがつた。そんな目の惡い女などは知らないと騷ぎを起して侍が目を覺し、この侍に調べられたら大變なことになる、この樣子ぢやア今夜も又化物と首つ引かと思ひながら、亙『姐さん、どうも仕方がない、こちらへ通して來てくれ、大方人違ひだらう』女『はい、たゞ今お連申します……おや、おいでなさいましたか、このお座敷で！』姐『御免なさい』とは入つて來たのを見ると、向ふ島で殺した綿吉がびつしよりぬれて居る。女『どうかなさいましたか、』姐『はい、眼が惡いものですから途中で川の中へ轉がり落ちました』女『おや／＼、左樣でございましたか、今夜具をあげますから、』姐『はい、夜具も何もいりません、このまゝでゴロリ轉がつて仕舞ひます、どうぞ御飯を持つて來て下さい、』女『お風呂は如何で……』姐『お風呂は澤山でございます、どうぞ御飯を持つて來て下さい』亙吉が驚いた亙『おや／＼化物の癖に飯を食はうとしやアがる』ガブ／＼酒を飲んで、亙『南無妙法蓮華經々々々々』亙吉がこれはいけないと思ひながらひよいと見ると、膳の前に坐つて居たはずの綿吉がをりません亙『さア大變だ、これからいよ／＼本物だぞ』四方を見廻すと行燈のそばに綿吉が坐つて居る、姐『ねい亙吉さん、お前はこゝまで逃げて來ればもうよいだらうと思ふだらうけれど、それでは濟ます事が出來ない、さア今までした惡い事をいつてお仕舞ひ、隱すと助けないよ、隱さずにいつて仕舞へば命は助けてやる、さアどうだ』とかたはらへ寄つて咽喉を締る、亙『ア、苦しい、むゝ苦しい、綿吉さん、俺ばかり苦しめたつて仕樣がない、元をたゞせば小さんに頼まれてあんな事になつたのだ』

咸興菓子商　同業組合

咸興面協議會員　咸興學校組合議員　金山福太郎

咸興學校組合議員　森田泰祐

咸興面協議會員　松村榮三郎

咸興學校組合議員　倉掛喜丈

咸南咸興郡西湖津　三湖釀造場主　金錫九

咸南咸興郡內湖　土木建築請負業　佐伯組

謹賀新年

咸南三湖公立普通學校長　北野蘇市

咸南咸興郡五老里　長岡醫院

堤防工事人夫供給　漢岱共榮社出張所
食料日用必需品配給　漢岱共榮社配給所
松出共榮社出張所
咸興城町一丁目　共榮社本店
設備完全　松一旅館

咸南五老公立普通學校長　山口勘太郎

元山公職者（順序不同）

植田律之助　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　三陽義一　[illegible]　上田悅太郎　[illegible]　[illegible]　[illegible]　福井伊三郎　竹井[illegible]三郎　大村鎌次郎　[illegible]

咸南　利原邑內有志

咸南新浦　田邊商店

咸南新浦港　大田回漕店　新浦合同運輸組

咸鏡南道　洪原警察署職員一同

咸鏡南道　定平警察署職員一同

咸南長津警察署長　中山良平　外職員一同

咸南長津邑內　三成釀酒所　李崔幹　元明春

中樞院參議　辯護士　洪聖淵

咸興驛前　精米業　穀物商　咸南商工株式會社

咸興面協議會員　佐川寅次郎

國際運輸株式會社　咸興出張所

內國通運株式會社　咸興支店

咸興土曜會

三菱合資會社　鈴木三郎

咸興刑務所友誼會

更新の春を祝す

平山郡金岩面汗浦 郵便所員一同

平山郡新南川里 三好龍三郎

新幕乗合自動車部 下川文助 運輸主任 宮原榮作

南川公立普通學校長 小出豹三

京義線南川 南川購買組合

京義線南川驛前 花岡 末廣小市

京義線南川驛前 内鮮通運株式會社南川取引店 上村直松

黄海道谷山郡 谷山郡廳職員一同

京畿道立 開城醫院

開城大和町 瓢

開城西本町 朝鮮料理 大成館

開城北本町 新豊館

朝鮮總督府專賣局開城出張所 參娯會

開城東本町 朴尙愚

在吉林總領事館 總領事 川越茂

在吉林總領事館 工藤政次

在吉林總領事館 嘉屋庄右衛門

吉林商埠地 蔡奎玉

吉林朝鮮人民會 會長 金正元

仁川 遠藤林壽

仁川宮町 御料理 大吉 電話四一四番

仁川本町三丁目 北島薬房 電話二三四番 八八八番

仁川 岡本保誠

仁川山手町 御料理 うろこ 電話六八番

仁川宮町 土木建築請負業 栖崎組 電話一四四番

仁川内里 朱命基 電話三八一番

仁川 安座上眞

仁川 森田初三郎

仁川宮町 磯永洋服店 電話二二五番

仁川 堆浩

仁川稅關貨物取扱人組合（いろは順）
同順桟　興和　元和桟　開島組 大平友市　天合桟　川井田商會 川井田彌三郎　運送店　朝日組 川手今吉　仁合 東　内國通運株式會社 仁川支店　中村運送店 仁川支店　野口商會 野口文一　山田運輸運送店 山田平作　酒井運送店 酒井久吉　歳田組荷扱部 歳田利吉　一心組 河内宮吉　木村組 小山喜八　合資會社 協同組 仁川支店　春記桟　由明商會 由木金次郎　復成桟　大和組 岡崎孝四郎　森本運輸所 森本龍一

鎮南浦 朝鮮鐵山株式會社 朝鮮支店

鎮南浦碑石町 古川順吉

鎮南浦 武本信一郎

鎮南浦 肥料 穀物 安河内商店 電話一八番

鎮南浦 久保組 電話四二番

鎮南浦 昭和寫眞館 山津晋

鎮南浦碑石町 有田自轉車店 電話三五二番

鎮南浦龍井町 久中幸平

鎮南浦三和町 仁田商會 電話一一四番

鎮南浦土木工業所 福尾德次郎

鎮南浦 中目啓

鎮南浦大倉町驛前 象山運送店 電話四七番

鎮南浦 全南精米所

鎮南浦 高橋仁作

鎮南浦漢西里六一 杉澤丑次郎

鎮南浦 承認運送店組合

鎮南浦生牛移出株式會社

鎮南浦果物同業組合

鎮南浦 乙畔農園

鎮南浦後浦里 三成精米所 李鍾燮

鎮南浦 三和金融組合 内田薫

鎮南浦驛長 古市金彌

鎮南浦倉庫株式會社

鎮南浦 蜷川甚平

鎮南浦 石川熊藏

鎮南浦 結城常次郎

鎮南浦 松林誠一郎

平壌慈惠醫院 鎮南浦分院職員一同

鎮南浦金融組合 瀬沼白陽

鎮南浦 河村商會

鎮南浦三和町 合資會社 青木組

鎮南浦 中村勉三

鎮南浦 中村農園果樹部

鎮南浦府尹 池田魁

鎮南浦三和町 鎮南浦果實株式會社 社長 松田豊

鎮南浦 柳原釀造所 藤本釀造所

鎮南浦 鈴木種一

鎮南浦公立學校職員一同

鎮南浦 電氣株式會社 電話一〇番

久原鑛業株式會社 鎮南浦製錬所

鎮南浦運友會

鎮南浦 合資會社 加藤精米所

鎮南浦 齊藤合名會社支店

官鹽 專賣局鎮南浦出張所

（いろは順）やつこ　江月　朝日館　新よね

鎮南浦商盛會（同不順）岡部呉服店　塚本呉服店　延田洋物店　松岡洋品店　巴商會

西鮮製錬株式會社 鎮南浦工場長 鈴木孝太郎

鎮南浦 土曜會

金川郡廳職員一同

同産業團體一同

新溪郡廳職員一同

新溪郡産業團體職員一同

京義線新幕 新幕公立普通學校職員一同

京義線新幕驛前 新谷自動車部 主 金景三

京城岡崎町 大理石工場 藤田林五郎

京義線南川 吉村一市

平山郡廳職員一同

京義線新幕 片倉殖産株式會社 新幕作業部 藤澤俊二

京義線沙里院 御料理 西久吉

京義線汗浦 原光三

瑞興郡廳職員一同

京義線新幕 杉山脩一商店

黄海道平山郡 土木課 南川派出所

京義線新幕 旅館 甲陽館 電話一六番 磯野

湖南線松汀里 草ケ谷英之助

全北裡里 窪田好助

黄登面事務所職員一同

全北裡里榮町 扇米助

全北裡里驛前 青木堂

京釜線秋風嶺驛前 秋風嶺公立普通學校職員一同

京釜線秋風嶺驛前 ㊤運送組合 組合長 吉田重吉

忠清北道永同 永同金融組合長 小柳英雄

永同郡 黄金面事務所職員一同

永同運送店組合

永同穀物商組合

忠清北道永同 株式會社 共榮社

京城日報永同支局長 各新聞取次 大橋猛亮

忠清北道永同 永同郡廳 崔志煥 不破昌知 三好源一

永同警察署 署員一同

朝鮮から内地へ 一番喜ばれる贈り物

總督府の蔘精

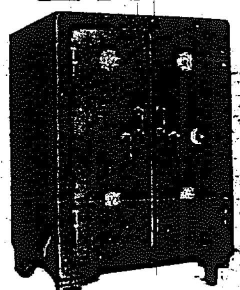
一函（廿瓦入）一、三〇

府内各所からの御注文は御贈先へ弊店から直接御送り致します

電話或は御來店御下命下さい 荷造して當方から發送します

京城本町二丁目 總督府專賣局指定賣捌所 貴生堂 電話本一三八番 振替京城七六一番

旭 金 庫



旭金庫工業株式會社

京城南大門通三 京城支店

釜山支店

慶尙南道廳 食堂員一同

延安郡廳職員一同

黄海道延安郡石山面 古河農園 石山芳松

釜山府榮町二丁目 忽那商店本店 電話長八一七番

平壤南門町二丁目 平壤支店 電話長二七九番

京城府大門通二丁目 京城支店 電話長本局二四一〇番

大邱元町二丁目 大邱支店 電話長六二三番

群山榮町 群山支店 電話長一〇五〇番

孔雀 (81)

古川實作　大村安次郎畫

美津子の行方 (8)

『私がそんなことを知るものですか』

孔雀はポンとはねた。

『男と一緒に家出したなどと分つたら僕は彼奴を生かして置きやしない！』

きつとなつて瀧一は今にもそこへ美津子が現れさうに空間をにらめた。

『ホホ、貴方も隨分得手勝手ねえ、貴方は御自分ばかし待合入りをしたり、女の役を追ひ廻して居る癖に、奥さんのことになるとそんなこわい顔をして――奥さんには男の方がお有かどうだか知りませんがもしお有だとすれば、どなたが奥さんにそんなことをさせるやうにしたのでせう？夫の勝手な眞似ばかりしてるのにその妻は默つて夫のすることを見てゐなければならんといふ理由があるでせうか。夫以外の男に得られない愛を他の男に求めたつて決して不思議ではありますまい。いくら女だからといつて愛してもくれない男に一生を束縛される謂はないぢやありませんか。それとも私のいふのが間違つてゐませうか？』

『もう分つてます、貴女のおつしやることはよく分つてます』

瀧一は手を擧げて孔雀を遮つた

『それでこのまゝ奥さんの居所が分らんとしたらどうなさるお考へなんですの？』

孔雀は急にしほれたやうな瀧一をおかしさうに眺めながら訊いた

『どうして好いか僕にも分りません』そして顔を擧げて一寸孔雀の方を見て『矢張り貴女は駄目なんでせうね』と縋つて哀びうな聲を出した。

瀧一のしほれた様子を見ると孔雀は何となく氣の毒に思はれて、美津子の居所を知りながらそれを秘密にして呆けてゐる自分の方が余程意地悪のやうに思はれた。

『私はあなたに同情してよ。でもねえ、今まであなたを愛する氣持にはなれませんでした。愛の無い結婚は悲劇を惹起する原因となりますから』

『だつてあなたが愛しやうといふ心になりさへすれば愛が湧いて來ると思ふね』

いつもの瀧一とは全く別人になつて瀧一は今日は大人しく穏かな話し方をした。

『私も貴方に愛を感ずるやうになるかどうか努めて見ませう』

瀧一に對する同情心がつい孔雀にこんなことまでいはせた。

『えゝ、そうして下さい、そしたら僕はどんなに嬉しいか知れません』瀧一はそういつた時フト心迷ひがおこつて『でも、貴女にそんなことが出來れないでせう』と、落胆したやうに兩手をダラリと垂れた。

『何ゆゑ？』

『何ゆゑつて貴女には他にちやんと愛の對象物があるんだから』

『私に？……ホホ……貴方はあまり察しよすぎますのねえ。一體その對象物といふのは誰なんでせう？』

『近頃貴女は杉田先生と非常に親しくしてお出でになりますが……』

『ではその對象物は杉田先生だとおつしやるんですか？』

『そうです』

『まあ……』孔雀は眼を細めてオホゝと笑つた。

そこへお酌が入つて來て、

『この方がお見えになりました』と、名刺を孔雀に手渡した。

孔雀は名刺を受取つて眺めて、

『お通し申しとくれ』といつてすぐに容態を失いで『失禮してこの部屋へお通し申しとくれ』といつた。

やがてお酌に案内されて一見實業家らしい五十恰好の立派な紳士が入つて來た。頭髪はもう半白だつたが、その肥つた體軀には如何にもよく洋服が似合つた。胸に垂れてゐる金ぐさりと眼鏡とは大會社の社長か、實業の大旦那に見せるに充分であつた。

『よくおたづね下さいました、毎度御ひいきに預りまして有難う存じます』

孔雀は改まつて會釋をした。

屠蘇代りに　葡萄酒
料理に入れると變つた味が出る

現代の若い人達にはあの色と芳香に獨特なエキゾチックな持ち味をみせる洋酒が好まれるのも時代的趣味としてきたやむを得ないことだらう。洋酒の用ひられることの多い昨今は珍しい傾向を示してゐるが、お正月を迎へ、和酒の中に異國酒のまじつてゐるのもまた一興だらう。それに合せてこゝには葡萄酒の用ひ方の中で少し變つたのを二三記してみやう

◇お正月の屠蘇に――これには味淋がつきものだがこの頃の新らしい家庭では婦人や子供達の口に味淋代りとして上等の白葡萄が用ひられ變つた風味が味はへる

◇蔬菜や肉類を煮る時――少量の葡萄酒を入れて煮ると風趣りな味をださせると共に肉類はやわらかくなつて老人むきには　よろしい

◇お粥を煮る時――病人や老婦人に喰へる場合少量のブドー酒を入れて煮れば美味になると共に滋養に富んだ主食物とすることが出來る殊に老人連には食慾が增進するのでよろこばれる

珍らしき木炭に代るべき
火王炭
一度御試用を電話本三三〇二

一口はなし

◇ 全南順天南門通　鐵柱　郭男

凸坊『お母さん僕は今日生きた龍を見たの』

母『まあ！どこで――』

凸坊『天神様のお庭でね泉水に水を吐いて居たよ』

◇ 府内本町三ノ二三森川方　竹山　霞十

甲『君の喧嘩相手はいつも虎だとさ』

乙『ハヽン、道理で俗臭しい奥が縄にゐる――』

演藝案内

喜樂館　新春の元旦に猛然として入る名番組　自三十一日至一月三日　◎寶刀の士　戰爭　一卷　パテー映畫　◎浦劇　怪人の咆哮　一篇二卷　主演　エドナ・マーフィ、四嬢、ハロルドミラー氏　日活時代劇部特作映畫　原作並監督　三枝源次郎　歩兵大佐櫻井忠温　◎現代劇　赤城の夕映　八卷　主演　竹光明、宮川延一郎、谷幹一、津守精一、佐藤円次、大宮司郎、河悦二、徳川方子　◎時代映畫　日活時代劇部作品　監督中山吾一　一劍横行　七卷　阿部京三、尾上桃華、中村吉次、有部十郎主演、東崇盃、浅野雪子助演

大正館　三十日ヨリ特別大興行　新春を飾る絶對無敵の巨彈　パテー映畫　ロイド獨特の滑稽と活劇！見る者をして汗を握らし腹をつぶれんばかりの爆笑の大喜活劇　ロイドのコック　全六卷　ハロルド・ロイド氏主演　ハリー・ボラード、ビーフタニエル嬢助演　松竹京都撮影所超特作時代劇　好評白熱の長二郎映畫　監督山崎藤江　蝙蝠草紙　七卷　林長二郎主演　オールスターキャスト　大部屋日活聯盟映畫　蒲田撮影所特作　監督清水宏　原作三上於菟吉　傑作　炎の空　十一卷　八雲惠美子、柏美枝、佐々木清野主演　オールスターキャスト

黃金館　キネマ　正月より特別大興行　日活現代劇部特作品　田舍の巡査　全六卷　裏田見明監督　森かね子、阪東千枝子　共演　パラマウント社超特作　名篇フランク・タトル念心の作　珍奇喜笑劇　阪落相手遊し　八卷　パラマウント社　ビーブ・ダニエル嬢　ハリソン・フォード氏　共演

登龍　全九卷　名監督　安時代劇部　一流劇佐藤樹一郎の作品　劍戟　松本田三郎　花泉清子　主演　猛優　片岡童十郎　林誠太郎　助演　中村獅子　紫郎　外若名出演　晴れの仕合に敗れ生活の太郎は失ひ名譽を重んずる汚名と呪ひの恨みに狂ふ男女、血の慘劇…鬼となりて……狂させず山に生きるものか……は止まなかつた

中央館　マキノキネマ　謹奉賀新年　昭和三年新春を飾る超特別大興行　三十一日より五日まで公開　黎明の空に燦然と輝く太陽　ウキリアム・フォックス社超特作　原作ヘンリー・エッチ・ニップ氏　監督トーマス・パッキン公氏　西部猛闘篇的大活劇　トニー大暴れ　全七卷　快男兒トム・ミックス氏大猛主演　ジャックリン・ローガン嬢助演　マキノプロダクション超特作映畫　日本映畫界の鬼才　許々多呂平氏原作　[illegible]　人非人　毒蛇　全十五卷　映畫界の熱血闘士　月形龍之介男生の大車輪　杉狂兒、河上君江、山本禮三郎、天野又一、岡島艶子、外マキノオールスター總出演

京龍館　浪江り　三十日より日活時代劇部作品　大活劇　熱血兒　全七卷　臨溝恒美主演　ウキリアム・フォックス社超特作　人間大活劇　怒號する天地　全七卷　原作者ジェームズ・オリヴァ・カーウッド氏　監督レジナルド・バーカー氏　ジャクリーン・ローガン嬢、フランクキーナン氏、名犬プリンスロイヤル共演　日活時代劇部特作　孝行鴛　全八卷　谷崎十郎、尾上松葉、撥木梅子主演

浪花館　正月元日より　東京落語　合同大一座　種日と出演者　落語音曲（松竹）浪花　[illegible]

京城 大陸고무工業株式會社
同 中央商工株式會社
同 서울護謨工業社
同 朝鮮고무工業所
同 萬世고무工業所

京城穀物信託株式會社

和洋紙　文房具　諸帳簿　印刷
北內商店
京城府本町一丁目　電話本局一五二番　京城振替一五九番

荷福仁助
京城府黃金町四丁目　電話本局一〇〇九番

謹賀新年

森政吉商店
京城府本町三丁目　電話本八三〇番

佐々木聖古堂
京城府南山町三丁目　電話本局三八九番

京城穀物商組合
京城精米組合

朝鮮皮革株式會社
本店及工場　永登浦　電話二五番
販賣店　京城府南大門通一ノ二〇　電話本一〇八〇番

楠商店
京城鍾路二丁目七番地　裁縫ミシン及部分品御用　大正元年創業　電話光化門九六〇番　振替京城一三〇〇番

戸張工業所
戸張式セメント瓦　コンクリート管　セメント加工品製造販賣
京城府漢江通十三番　電話長(龍山)五三〇番　振替京城一五三一番

山口芳藏
京城府岡崎町九二　電話龍山八七〇番

安藤靜
京城府大和町一ノ四八　電話本局二一四九番

村上硝子店
京城府黃金町二丁目　電話本局二三二四番

石田建築材料店
京城府黃金町一丁目五番地　電話本局一一六一番

朝日乃旅館
太平通一ノ二九　電話長光化門十八四番

安田疊店
京城府本町二丁目一　電話本局六七〇番

林田金太郎

花園町私設市場

菊田寫眞館
最新の設備　最新技術應用　責任特許魔法寫眞發明者
武橋町八（電話光化門一八三）

子供屋
京城本町ビルヂング二階

吐月
京城府元町三丁目　御料理　御席　電話龍山六〇一番

深堀館
和洋家具　建具　深堀工務所
京城府黃金町四丁目　電話本三六二〇番

那須商店
釜山府大倉町二丁目　米穀受託問屋　電話長三六〇　長一五〇三番　長一六六

南鮮土木協會
釜山大倉町四　電話一四〇六番

三木孝一商店
釜山府本町四丁目　電話二五七番　電信略號(三)又(ロ三)

山本利吉商店
釜山府大倉町四丁目十八番地

東萊ホテル
東萊溫泉場　電話二八番

脇旅館
東萊溫泉場　電話二九番

荒井旅館
東萊溫泉場　内湯完備　電話八番

鳴戸旅館
東萊溫泉場　親切丁寧　内湯完備　電話六番

山田醫院
東萊邑內　電話一〇四番

東萊面　職員一同

櫻庭幹雄
マキノプロダクション　聯合映畫藝術家協會朝鮮配給所　キネマ商式會社　サクラバ商會主
本店　釜山府南濱町二ノ一四　電話長七二〇番　長七一六番
出張所　京城府黃金町二ノ八　電話長四〇六二番

株式會社 釜山券番

觀海
釜山南濱町　御料理　電話一〇〇九番

生駒
釜山府南濱町貳丁目三七　御會席　御料理　電話長七八二番

釜山運送業組合

合資會社弘中商會
代表社員　弘中良一
本社　釜山府榮町一丁目
出張所　京城府南大門通五丁目

笹田農具製造所
釜山府寶水町一丁目　一、農具　一、製造
所主　笹田沸吉

釜山精米業組合

東萊溫泉場　新館落成　御旅館
蓬萊館
電話五番

東萊溫泉場　新築旅館
横井旅館
電話二二番

釜山金曜會

東萊郡
事務打合會

釜山南濱町二丁目
うろこ
石黒イト　電話一三九六番
今般南濱町二丁目元鶴生亭を讓り受けまして新にお客樣の御設計によりまして御座敷を改造致しました何卒御贔負に願ます
新築落成　御料理　御席

釜山府綠町
貸座敷營業組合

朝鮮釜山府
朝鮮紡織株式會社
電話九七九番

福迎飲んで
樂しきお正月
縁起よき
お正月の御酒は之れ
京城本町電車終點
難波酒場
電話本一四一六番

釘本藤次郎本店　京城本町二丁目　電話本局二七四五番
釘本機械部　京城本町二丁目
釘本樂器部　京城本町二丁目
釘本南大門支店　京城府南大門通一丁目
釘本藤次郎支店　龍山通三和町　電話長六三番

京城古市町一二番地
國際運輸株式會社京城支店
電話本局一一七〇・一五九七番

於朝鮮食糧品品評會料理一等賞受領
營業課目
一、宮中式名物純朝鮮料理
一、書畫舞踊歌曲一流藝妓
一、送別歡迎暢叙幽樓宴會
一、純朝鮮土産食料贈答品
一、婚禮壽辰排床獨角床
一、園遊會運動會模擬店
一、小宴新舊式西洋料理
一、純朝鮮式建物貳百餘坪　鮮洋式樓上一棟壹百坪
右記諸般物品具備待客親切迅速酬應
朝鮮京城南大門通一ノ一一六番地
食道園
電話光化門局三二・三三七

京城承認運送店組合

京城醫師會

京城府漢江通七番地
龍山工作株式會社
社長　田川常治郎
電話龍山　四六六・四三六・六八三